



西尾維新
NISIOISIN

「めだかボックス」18巻です。

日本語の面白さを

改めて掘り下げてみると

まあどこまで掘っても底が

見えないというか、

遊び放題だなと感じます。

「漆黒の花嫁衣裳編」から

言葉使いとか出てきていますが、

TVアニメ第2期

「めだかボックス アブノーマル」

BD&DVD

2013年1月30日

発売!!

初回限定特典で西尾維新書き下ろし
オーディオドラマ収録の
スペシャルCDも!!



●価格/BD:7350円(税込) DVD:6300円(税込)
●メーカー/メディアファクトリー

JUMP COMICS



めだかボックス 18



第18巻。婚約者「言葉使い」達との

全面対決——!!

TVアニメ第2期

「めだかボックス アブノーマル」

大絶賛放送中!!

第3部「漆黒の花嫁衣裳」編

原作 西尾維新

漫画 暁月あきら

劇的終宴!!

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら
集英社



9784088705361



1929979004002

ISBN978-4-08-870536-1

C9979 ¥400E

定価 本体400円+税



ジャンプ・コミックス

雑誌 47443-36

くぐる 木との勝負で追い詰められた江迎の前に「あの男」
潜 が参上! さらに善吉がめだかの残したメッセージ
の解読に成功し、一行は彼女の下へ。そこで待ち受ける
事態と、行われるゲームとは…!? 漆黒宴、ついに決着!!

小説「グッドルーザー 球磨川」上下



JUMP J BOOKS 各巻 定価680円(税込)

大絶賛発売中!!

凛っ
超美麗フィギュア登場!!
ハイブリエステス
めだかボックス
黒神めだか

■商品構成: 彩色済み完成品フィギュア
■価格: 7800円(税込) ■商品発送: 4月下旬

集英社公式通販サイト Mekke!
<http://mekke.shueisha.co.jp/>

メガトレショップ
<http://www.megatreshop.jp/>
各サイトで好評予約受付中!!



個人的に音楽記録メディアとしては

MDが一番好きなのですが、

最近どんどん姿を消していて

悲しいです。

カセットよりも管理しやすく、

フラッシュほど持て余さない

感じがよかったのですが。

いや…単純にあの「カシャッ」

という形状が、僕の心の琴線に

触れるだけだったのかも

しれません。



「めだかボックス」⑱

ISBN978-4-08-870536-1

JUMP COMICS

ボックス

めだか

めだかボックス 18



18

「この戦いが終わったら」

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら
集英社

9784088705361

1929979004002

ISBN978-4-08-870536-1

C9979 ¥400E

定価 本体400円＋税



ジャンプ・コミックス

雑誌 47443-36

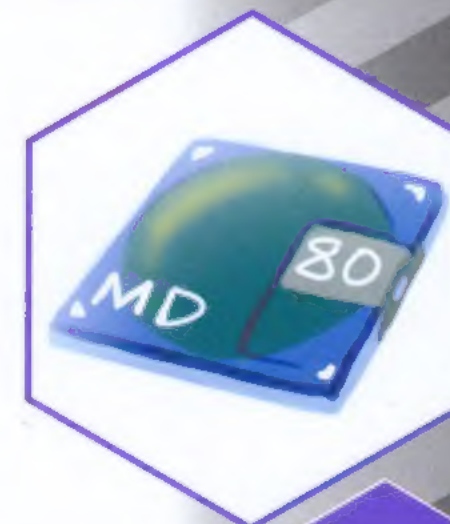
くぐる 潜 木との勝負で追い詰められた江迎の前に「あの男」が参上！さらに善吉がめだかの残したメッセージの解読に成功し、一行は彼女の下へ。そこで待ち受ける事態と、行われるゲームとは…!? 漆黒宴、ついに決着!!



個人的に音楽記録メディアとしては
MDが一番好きなのですが、
最近どんどん姿を消していて
悲しいです。

カセットよりも管理しやすく、
フラッシュほど持て余さない
感じがよかったのですが。

いや…単純にあの「カシャッ」
という形状が、僕の心の琴線に
触れるだけだったのかも
しれません。



暁月あきら
AKATSUKI AKIRA



西尾維新
NISIOISIN



『めだかボックス』18巻です。

日本語の面白さを

改めて掘り下げてみると

まあどこまで掘っても底が

見えないというか、

遊び放題だなと感じます。

『漆黒の花嫁衣裳編』から

言葉使いとか出てきていますが、

そりゃあ手強いよなーと。

そんな感じで物語は続きます。

よろしくお願いします。



●週刊少年ジャンプ・H24年29号～38号掲載分収録

JUMP COMICS 



MEDAKA-BOX めだかボックス 18 「この戦いが終わったら」

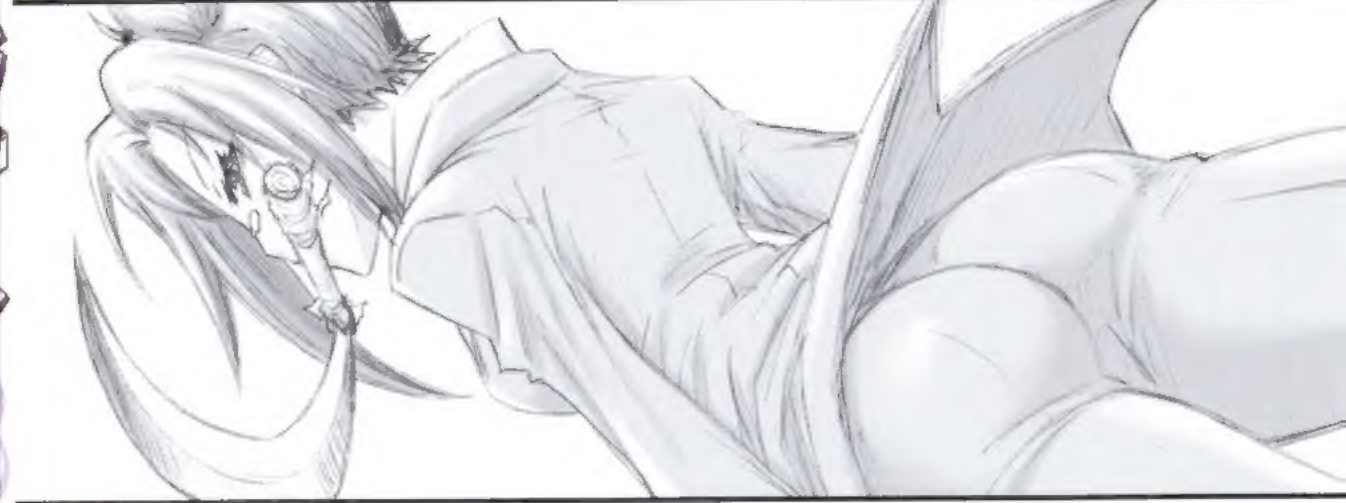


原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

めだかボックス 18

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

集英社



ジャンプ・コミックス
集英社



★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

JUMP COMICS



ボツ
クス

め
だ
か

18

「この戦いが終わったら」

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

CHARACTERS

キャラクターストーリー

STORY



黒神めだか



生徒会長
人吉善吉



書記
鰐塚処理



副会長
名瀬天歌



会計
江迎怒江



庶務
虎居碎

箱庭学園
第百代
生徒会執行部



球磨川 禊



安心院 なじみ



不知火 半纏



不知火 半袖



鶴喰 鷗



贅波 生煮



叶野 遂



潜木 もぐら



?



?



?

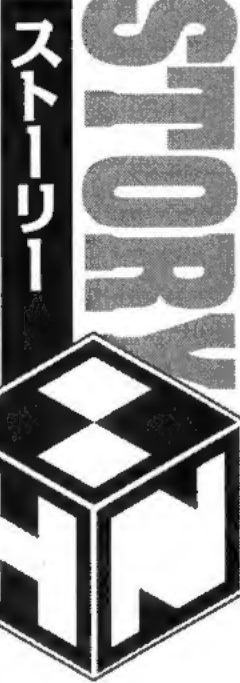
月氷 会

兎洞 武器子



めだかの婚約者たち

生徒会長（せいとくかいちょう）の座（くら）を退（ひ）いた黒神（くろがま）めだか（めだか）の下（もと）を鶴喰（つるばみ）鷗（お）が訪（たづ）ねた。「父（ちち）親（おや）の鶴喰（つるばみ）鷗（お）はめだか（めだか）に殺（ころ）された」という安心院（あんしんいん）の言葉（ことば）の真相（しんさう）を問（と）う鶴喰（つるばみ）鷗（お）に、めだか（めだか）の口（くち）から明（あ）かされたのは「漆黒（しつこく）宴（えん）」という、黒神家（くろがまけ）本家（ほんけ）と婚姻（こんいん）関係（かんけい）を結（むす）ぶため、七（なな）つの分家（ぶんけ）の婚約者（こんやくしや）たち（たち）が争（あそ）ぶ宴（えん）の存在（そんざい）だ（だ）った。鶴喰（つるばみ）鷗（お）の父（ちち）はそ（その）宴（えん）に参（ま）加（か）し、何（なに）者（もの）か（か）に殺（ころ）された（た）だ（だ）という。その醜（みにく）悪（あく）なる宴（えん）が再（また）び行（おこな）われること（こと）にな（な）った。めだか（めだか）は自（じ）由（りゆう）を手（て）に入（い）れるため鶴喰家（つるばみけ）の代表（だいひょう）として参（ま）加（か）し、残り（のこり）六（む）つの分家（ぶんけ）代表（だいひょう）と戦（いくさ）うこと（こと）に。めだか（めだか）側（がわ）には安心院（あんしんいん）なじみ、球磨川（くまがわ）禊（せき）らが参（ま）戦（せん）。だ（だ）が開始（かいし）早（はや）々（々）、めだか（めだか）は消（しょう）息（そく）不（ふ）明（めい）に――！後（あと）を追（お）う新（しん）生（せい）徒（とく）会（かい）メンバー（ばー）は、行（い）く手（て）を阻（さ）む分家（ぶんけ）代表（だいひょう）を倒（たお）し、めだか（めだか）が残（のこ）したメッ（め）ッ（め）ッセージ（じ）を発（は）見（けん）。だ（だ）が移（い）動（どう）手（て）段（だん）の飛（と）行（ぎょう）機（き）を次（つぎ）なる分家（ぶんけ）代表（だいひょう）、潜（かづ）木（き）もぐら（もぐら）に壊（こわ）され……！



MEDAKA

CONTENTS

18

だい 第150箱	はこ 「あんな風になりたいなあ」	7
だい 第151箱	はこ 「僕達は逃げない」	27
だい 第152箱	はこ 「これで割は合うであろ？」	51
だい 第153箱	はこ 「この戦いが終わったら」	71
だい 第154箱	はこ 「今の私に大事なものは」	93
だい 第155箱	はこ 「善吉のために」	113
だい 第156箱	はこ 「私は黒神めだかだ」	133
だい 第157箱	はこ 「私の負けは決まっていたよ」	153
だい 第158箱	はこ 「言葉もない」	173



BOX

でっ…
では善吉！
ぜんきち

わっ…
私と
わたし

私と
わたし
□□
□□
□□
□□
!!

だい はこ
第150箱

「あんな風になりたいなあ」
ふう

なんだっけ
あのとき

あのとき
めだかちゃんは
俺になんて
言ったんだっけ—

って

寝てる
場合か!!
ねてる
ばあい

よう

お目覚めかい
善ちゃん
めざめかい
ぜんちゃん

結構強めの
麻酔だったはず
なんだけどな—
けつこうつよ
ますい

いやいや
まったく

生徒会長は
いいタイミグで
起きやがるぜ
せいとくかいちょう
いいたいみぐで
おきやがるぜ

……
なぜししょう
名瀬師匠!
なせししょう

いまいつたい
今一体どういう
状況—
いまいつたい
こんいつどういう
じょうきよう

あ—

そうがなるなって
バトルなら

いま
今まさに
終わろうと
してるから。



うふふふ
物体を腐らせる
スキルか

こんな南極でも
使えるなんて
大したものなのだ！

だけど私には
通じないんだ
もんねー！

なぜなら私こそは
黒神家分家
潜木家代表！

漆黒宴の
優勝候補筆頭！

黒神めだかの
婚約者その1
なんだからさー！！

……って

もう敗退
しちゃったん
だけどねー

……そんな馬鹿な！
俺のお母さんと
互角の戦いをした
江迎が

かすり傷ひとつ
つけれない相手
がいるだなんて……

……俺と善ちゃん
が
賢波と叶野に
2連勝したとは
言え

思い上がっていたつもりも
甘く見てたつもりも
なかったんだがな

しかし完全に
計算違い
だったぜ

めだかちゃんに
一番近い奴

そのキャッチフレーズが
まさかそのままの意味
だったとは……

真黒さんじゃ
あるまいし
何冷静に分析
してるんですか？

こんなところで
見てねーで一刻も
早く江迎を助けに

あー
善ちゃん善ちゃん

その辺の
くだりなら

もう
済んでる。



もう助けに
入って

もう全員で
戦って

江迎以外は
もう負けてる



…申し訳
ありません
人吉会長

あの言葉使い…
わけのわからない
言葉を使って…

会長の留守を
守ることも
できず…

虎居!!
いいからもう
喋るな!!

くっ…せめて
私の奥義が
決まっていれば…

しかしあれは
我が鋸鋸流において
一度限りの禁じ手!

銅塚!!
お前は別の意味で
もう喋るな!!

生徒会内での
立ち位置が
そろそろ決まるぞ!!



……まあそういう
ことやから
助太刀とか考えんと
そのまま寝たふり
しときや

たぶんあと
1ターンで
終わるから

大体あの娘は
きみの代わりに
戦ってるんだよ

ナントカ学園の
ナントカ会長は

名乗った奴とは
一対一なんですよ？

……
るつせえよ
黄波

嘘しそうに
人の揚げ足
取ってんじやねえ

俺は
友達を見捨てる
くらいなら

生徒会長なんか
いつだって
やめてやるよ!!

!!
人吉くん!?

おおおおおお
おおおおおっ!

かいしん
改神モード
ぜんきち
全吉モデル……

しゅとうりゅう
手刀流!!





一回攻撃をかわす間に
三回蹴ってやがる…

善ちゃんの
お株を奪う
足技…
つか

あれができるのは
箱庭学園でも
高貴くんだけだな…

ああっ!!

嘘…いくら貴波戦の
傷が癒えてないって
言っても

全吉モデルを
歯牙にもかけない
なんて…

人吉くん…

ふふふふー

これで諦めも
ついたかなー!

漆黒宴の邪魔は
できないって
わかったかね
高校生の諸君!

でも私は
いい奴だから
今なら!

謝るだけで
許してあげるんだ
もんねー!

………
謝る?

あなたに謝る
ことなんて
ひとつもないよ

だって

わたし
私は
悪くない

……
もん

私はあなたに
負けるかも
しれない

だけどそれは
弱いから負ける
だけで

悪いから
負けるわけじゃ
ない

黒神さん達を
助けようという
私達の行いが

悪いはずが
ない!!

だから
たとえここで
私達が負けても

すぐに
第二第三の私達が
現れて

あなたを倒そうと
するだろう

そのときのために
せめて私は!!

あなたのスタイルの
謎だけは
説明してみせる!!

……
スタイルの謎

ねえ

わたし
私まだスタイルとか
使^{つか}ってないん
だけど。

あーなんか
ごめんね
誤解させちゃった
みたいで

これは私が謝るよ
きみ達から見たら
私が普通に戦ってる
だけでスタイルみたい
に見えるんだね

ごめんなさい!!

きつー…
これは心が
折れたかな

まあ潜木の前
に立ったことを
今更後悔しても
遅いけどな

…後悔
…ごうかい

黒神さん
くろかみ

あのお願いが
あるんだけど…

実は私今
人吉くんから
新生徒会に
勝われてて...

正直
やってみたいとも
思うんだけど

でも安請け合ひして
後悔したくないから
断ろうと思ってるの

喜界島さんがやってた
仕事が私なんかには
務まるはずないしね

でも人吉くん
結構強引で...

だから黒神さんから
言ってもらえない
かな.....

やらずに後悔するより
やって後悔するほうがいい
という言葉があるが

私に言わせれば
やりたいことを
やっておいて
後悔するのなら

そんなもの
やらないほうが
よいに決まってる

だから断りたいと
言うなら
引き受けよう

しかし
貴様

善吉に出会って
五分で告白したという
貴様の積極性は
どこへ行ったのだ？

江迎ちゃん

やらずに満足
するのと
やって満足
するのでは

断然後者を
選ぶべきだぞ。

.....
格好いいなあ
黒神さんは

負けても折れても
変わっても
格好いいんだなあ

わたし
私も

あんな風^{ふう}に
なりたいなあ。



まだスタイルを
使っていない？

それが
どうした！



だったら今から
そのスタイルを使わせて！
それを解明すれば
いいだけじゃないか！

なんならついでに
勝ってみたり
してね！！



ようやく普通に
構えよったか…
けど苦し紛れやな

あんな風に
髪なんか切って

少しでも身を
軽くしようや
なんて…



違うよ
叶野



あの子が髪を
切ったのは
そうじゃなくて

とても
ありふれた

とても
ありきたりな
理由…

人吉くん

ううん

善吉くん



本当に
好きだったよ

初めて会った
ときからずっと

初めて会った
ときよりずっと

私を会計に
選んでくれて
ありがとう

黒神さんと

幸せに
なってね

言った

ちゃんと
言った

ちゃんと
言えた

これでもう
私の人生
後悔はない

だいまんぞく
大満足だ！

あいうねら
相撃ち狙いの
特攻…

いや!!

えむかえ
江迎の奴
死ぬ気だ!!

えっ

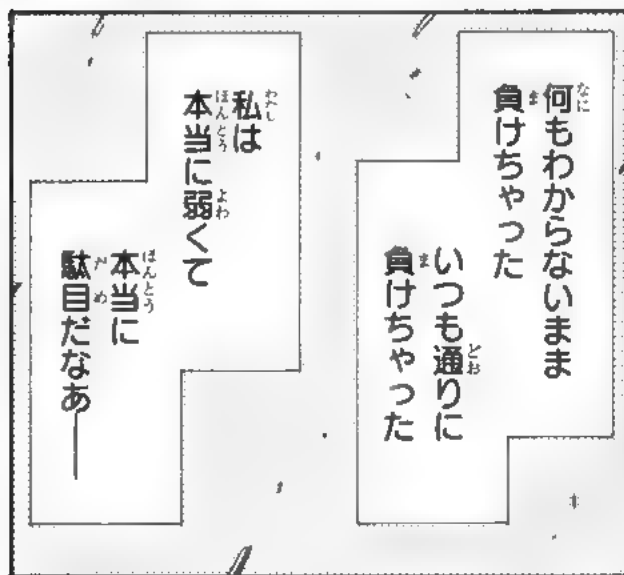
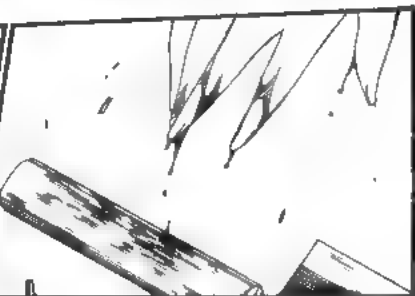
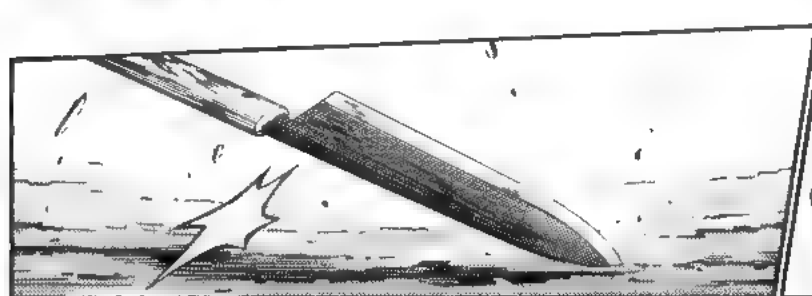
えむかえ
江迎ええ
えええっ!!

いのちが
命懸けの
捨て身かあ

かっこう
格好いいなあ
きつと通じるよ

まんが
漫画
ならね!





私は
本当に弱くて

本当に
駄目だなあ

何もわからないまま
負けちゃった

いつも通りに
負けちゃった

負けちゃった

あーあ

「きみは本当に
弱くて駄目だよ
怒江ちゃん」

「いや
まったく
その通り」

『だ
け
ど
確^た
か
に
』



『きみは
悪くない。』

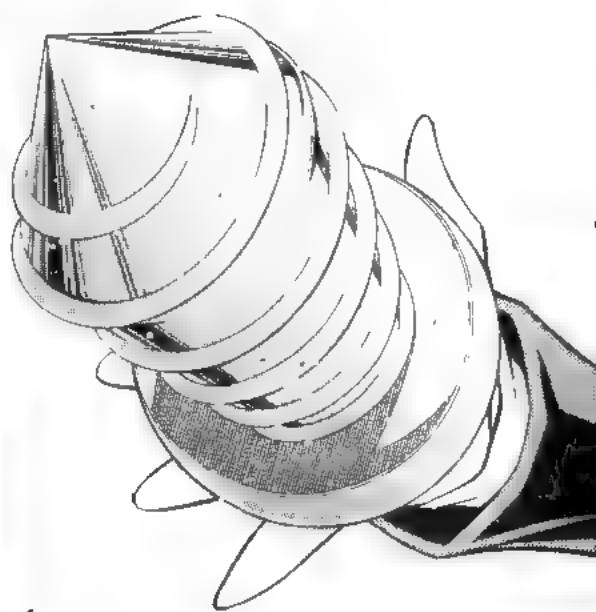
『劣化大嘘憑き』
『きみの致命傷を
なかったことにした』

『全く仲間のために
犠牲になろうとか
なんて自己満足だ』

『過負荷の花も随分
甘くなったものだね
がっかりだよ』

『…が』
『その甘さ』

『嫌いじゃあ
ないぜ』



ん あッ!

球磨川せんがいが
現れた……

これはもう
私のターンは
ない予感……!



『怒江ちゃん』

『きみは』

『悪くない』

『本当に』

『悪くないぜ。』

第151箱 「僕達は逃げない」

なんで
摩訶川がここに...

漆黒宴は
既に

会場を兩極から
移しているはずじゃ
なかったのか...?

なんでもいーよ
助けに来ていて
言う台詞じゃねーが

助けてくれや
球磨川先輩

俺でよければ
裸エブロンでもなんでも
なってるからよ

「ふっ...」
「やだなあ
名瀬さん」

「いつまでも
僕がそんな」

「幼い好みに
甘んじる器だと
思うのかい？」

「裸エブロン？」
「そんなものは
幼稚園児にでも
見せておけ！」

「今の僕の
トレンドは！」

『手^てブラ ジー^ジンズ!!』

『僕^{ぼく}はこれで
週^{しゅう}刊^{かん}少^{しょう}年^{ねん}ジヤンプの
表^{ひょう}紙^しを狙^{ねら}う!!』

だい
第151箱^{はこ}

『僕^{ぼく}達^{たち}は逃^にげない』



めだか
ボックス



えーあー
はい

じゃあ
それで…

「ちょ…なに
その微妙な
リアクション!」

「いや名瀬さん きみまだ
手ブラジーンズの魅力
わかってないって!!」

手ブラ
ジーンズ

その魅力と
利点は



上半身裸になることで
否応なく露になる
柔らかな女体と
ぶ厚くて頑強な
ジーンズのミスマッチ

ガーリーとボーイッシュの
融合にこそ
その真髓がある

また羞恥心の少ない
昨今の女子にも
強制的に恥じらいの
ポーズを取らせる
手ブラは同時に

見ようによつては
自ら乳房を
揉んでいるがとき
エロティックさも演出する



こんな
ところかな?

球磨川くん

「……………」

いやいや
球磨川の旦那!

「いつできる!」
みたいな願
してんじゃねーよ!!

——って
いうかあ

どうしてきみが
ここにいろの?

きみは黒神めだかや
残る三人の婚約者と
同行して
漆黒宴の三次会会場に
向かったはずじゃ
なかったのかなー？

同行——というより
連行されてと言ったほうが
正しい形で……

「その問いに対する
答はシンプルだよ
潜水さん」

「僕は箱庭学園に
おいて後輩から」

「風と呼ばれて
慕われていてね」

「風は」

「囚われないから
風だ。」

呼んでねえし
慕ってもねえ!!

「気をつけえや潜水の
文字通り
あんな風やけど
あの男は他の奴とは
だいぶ違う感じどす

そうだよ潜水
——今までみたいに
スタイルの出し惜しみ
してる場合じゃないよ

わかってる
のだー

んー……
って言うか——

お前ら負け犬の
アドバースなんて
いらねーんだよ
ばーか☆

弱さが伝染するから
話しかけんな
不愉快なのだ！

大体さつきから
私の影を踏んでるんだよ
そこをいづくれる？

ま確かに

この娘には
アドバースなんかいらんか

潜木もぐらの
使うスタイルもまた

六人の中で
最も恐ろしい
言葉なんやから！

さつきまでより
断然速い——
いやでもしかし！

ここは南極大陸！
足場は永だぞ！

あんなスピード
制御できずに
滑るに決まってる——

滑る？
ふっふっふ

滑る
だってえ——

望^{のぞ}むところ
なのだ!!

!?

くっ…

球磨川^{くまがわ}
さんっ!!

な…パンチ一発で
球磨川の旦那の左腕が
消し飛んだだとい?

爆散^{ばくさん}って!
どんな力で殴れば
そんなことに
なるんですか!?

まるでこの場にある
全ての力を統合して
殴ったかのような…

…ん?

全て…?
統合して…?

「…へえ
なるほど」

「まあ」

「確かに
強いね」

「しかしまあ
強いってだけなら」

「それはもう
僕から見れば
弱点だ」



「殴って爆散とか
バトル漫画で
やってろよ」

「生憎箱庭学園は
シニールギャグだぜ」

「強さなんて
笑いにしかならない」

「強さなんて
鼻で笑って」

「無変え映
だけ…!?」



「私は六人の
言葉使いの一人」

「誤変換
使い」

「え…?」

「……」



すべてを
なかつたことに
するのは！

きみの専売特許じゃ
ないのだよ
球磨川くん!!



なっ…水に
叩きつけられたら
身体が
炎上した…!?

あれではまるで
名瀬副会長の
『アイスフレイア
凍る火柱』…!!

違う違う
そういう賢い
何かじゃない

私が
『ふ厚い氷』と
『ふ熱い氷』を

間違えただけ
なのだー!!



球磨川先輩でさえ
歯が立たないなんて…

所詮私達は
井の中の蛙でしか
なかったの…?

いや妙だ…
『誤変換使』の
『顔を踏む』攻撃は
確かに脅威だが

既に俺にさえ見えた
その弱点が球磨川の
旦那に見えない
はずがないんだが……



「何やっつてんだよ
怒江ちゃん」

「僕が場を繋いで
あげてるんだから」

「さつさと善吉ちゃんへの
告白の続きを済ませてよ」

え？

「え？じゃねーよ
まさか」

「自分の気持ちだけ
言っつて」
「伝えて満足
ハッピーエンドの
つもりかい？」

「相手の気持ちを」
「返事を聞くとこ
ろまでが告白だろ」

「逃げんな。」

「嘘…まさかあの
人
そのために江迎さんを
助けたー否」

「彼女の覚悟の特攻を
邪魔したの？」

「返事って…
振られることが
わかってるのに…？」

「そんなの酷過ぎる
でしょ球磨川先輩…」

江迎

球磨川の
言う通りだ

こっちに来い

お前の
好きになった
男が

お前を
世界一格好良く
振ってやるから。

人吉くん……

早く行けよ
怒江ちゃん
弱くて駄目で
マイナスな

「そんな僕達が唯一
その辺の天才共と
張り合える自慢が
あるとするなら」

「負けから
逃げない」

「ってことだ」

……

『僕達^{ぼくたち}は
逃^にげない』

『恋^{こい}からも』

『失^{しつ}恋^{れん}からも』



.....
賢^{けん}波^{なみ}

預^よってる
切^きれ味^{あじ}拔^は群^{ぐん}の
お前^{まへ}の
小^こ太^た刀^{とう}

使^{つか}わ
せて
も
ら
つ
て
も
い
い
か
？

？
い
い
け
ど
...

今^{いま}小^こ太^た刀^{とう}な
ん
て
何^{なに}に
使^{つか}う
の
さ







ぐっ…

うっうっう
うっうっう

おおおおお
おおおおっ!!



ひとよし
人吉くんっ…!!

かんちが
勘違いするなよ
江迎…こんな切腹が
償いになるとは思ってねえ

鈍い男は
鋭い刃物で
切るしかねえっ
っう

これは
俺のただの
けじめだ



お前が俺に
してくれたことや
俺がお前に
してしまったことは

あたま
頭を下げようと
腹を切ろうと
許されるもんじゃねえ

ゆえに俺はお前に
絶対謝ったりしない

かわりに俺は
こう言うんだ

俺は
お前に

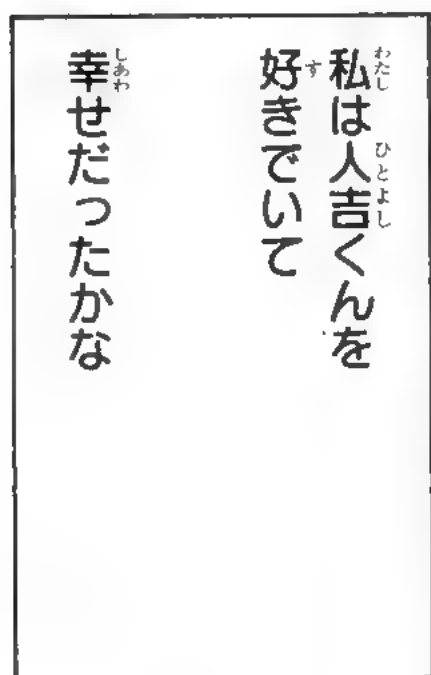
腹を割って
胸を張って
こう言うんだ

俺は生まれ変わっても
めだかちゃんを
好きになる

だから

お前とは
付き合えない





ありがとう！

ひとよし
人吉くんを
好きでいて





しあわせ
だった！



はっ あほらし
言葉もないわ
あないなラブコメ

学校の体育館裏で
やっといて欲しい
もんどす

って号泣
し過ぎやろ
貴様ノ

どんなキャラ
やねんお前!!



あはははー!
面白いのだー!

切腹なんて
初めて見た
超受けるー!

私も誰かに告白して
やつてもらおうかな
ー!

「無駄だよ
潜木さん」
「きみが誰かに
告白したところで」

「普通に振られて
終わりだよ」



『また
勝てなかったぜ』

「あーあ」
「善吉ちゃんめ
格好つけやがって」

「適当なことを
言っつけてしかけた
怒江ちゃんが」

「振られた所を
僕の彼女にしようと
目論んだのに」

……負けた奴が
なに満足そうな
顔してんの

そういうの
ムカつくのだ！

言っとくけど私は
六人の婚約者の中で
強さ的には最強
だけど

人間的には
一番の小物だよ？

くるん

だってそういう
ぬるい関係が！
なあなああの関係が
すっごくムカついて！

全部
バラバラに！

分解したいって
思うもん！！

「……」
「やれやれ」

「小物であることで
僕と張り合おう
なんて」

「きみは実に僕が
深い大した奴だよ
潜木さん」

「しかし確かに
球磨川も
ぬるいキヤラに
なったもんだ」

「ほんの半年前まで
そんなこと夢にも
思わなかったのに」

「今の僕と
きたら」

ちろっ

『後輩を傷つけられて
許せないとか思ってる』

『まるで悪い夢でも
見てるようだぜ』



『却本作り』
ブックメーカー

『あの安心院さんが
解くの三年かかった
封印だ』

『ま今は
弱体化してるし』

『きみでも
三十年かければ
解けるだろうから
がんばってね』

え……ちよつと
なんで……

私の誤変換は
……？

『怒江ちゃんが
昔教えてくれた
ことだ』

『最初から
間違えてる
過負荷は』

『なかったことには
できないんだよ』

わ……私が
悪かったのだ……

謝るから
許し

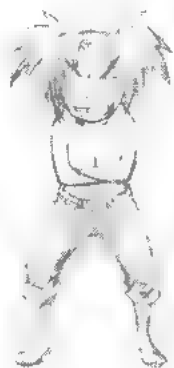
『駄目だ』

『僕は
悪くないし』

『僕は
ぬるいから』

『きみがどんなに
誤っても
許さない。』

キアラ
ジーンズ補遺。



「切腹の傷を
戻してあげられなくて
ごめんね善吉ちゃん」

「劣化大嘘憑きは
以前よりも
負完全だから」

「すべてを
なかったことには
できないんだ」

第152箱

「これで割は合うであろ？」

いやそのほうが
ありがてーですよ
球磨川先輩

もとより
治してもらおうなんて
思ってます

自分の馬鹿さ加減を
忘れずに済みます
からね

……もちろん
それにしては
女性陣の怪我は

ちゃんと戻っている点に
若干の差別を感じない
わけではありませんが……

「ただまあ江迎の髪が
戻ってないところを見ると
男女差じゃなくて

強い思いのこもる現実
はなかったことには
できなくなつたと
見るべきなのかな

さて球磨川先輩
——通り治療も
終わったところで

そろそろあの空母で
何があったのか
聞かせてもらおうか

「却本作り」を
抜いてやる条件で
潜水に戦闘機を
直させている間に

可愛い後輩達に
その辺教えて欲しい
もんなんだがな

「そう
詰め寄らないでよ
名瀬さん」

「別に隠し立てする
気はないし」
「安心院さん達が
死ぬほど心配なのは
僕も同じだよ」

「漆黒宴についての
説明はこの際
省いても平気だよな？」

「六人の婚約者は
最初僕達に影武者を
差し向けて来たんだよ」

「その影武者全員を
安心院さんが
散らしたところで
本物が来たんだけど——」

「しからは証明するしか
なからうて——
あんな影武者
六人合わせても

「わがはたち
吾輩達の
一人にも足りない
ことを

「いやだから
そういうことを
言ってるんじゃない
んだって」

「影武者だろうと
僕達はもう六回
勝ったんだから」

「漆黒宴は
お開きだつて
言ってるんだよ
馬鹿じゃないの？」

なるほど
確かにそうだ

では――

ラスボスっぽい
奴が折れたー!!

予選と決勝戦の順番を
逆にするというのは
どうかの？

まず我々婚約者六人が
その序列を競い
トップを取った者が
黒神めだかとサシで
対戦するというのは

漆黒宴としては
これこそあるべき
姿である

と吾輩は
思うのだが

如何かの
月氷会殿？

つまりめだかちゃんに
漆黒宴のシード権を
くれるってことかい？

どうだろうねえ

あんな

恐るべき強敵達と
戦った身としては

ちよいと割に
合わない気がするな

ならば更に
割を合わせる
までだ

この第二回
漆黒宴

もしも
黒神めだかが
優勝したならば

鶴喰梟博士を
殺した犯人を
教えて遣わす

これで割は
合うであろう？



：言うまでも
ないと思いますけど
お嬢様
これ絶対に応じちゃ
駄目な取引ですよ？

このまま押し切れば
勝ち確定ですし

大体あいつが
本当のことを語る
保証なんて
欠片もないんですから☆

ああそうだな
不知火
わかってる

わかってる
わかってる
わかってる



わかってるが
わかっていても

この取引には
応じるしかない。

愚かな女と
笑ってくれ
私はたとえ嘘でも

泉博士の話が
聞きたいんだ...

めだ姉が
こんな感情的に
なるなんて...

実の子つてだけの
私なんかよりも
よっぽど

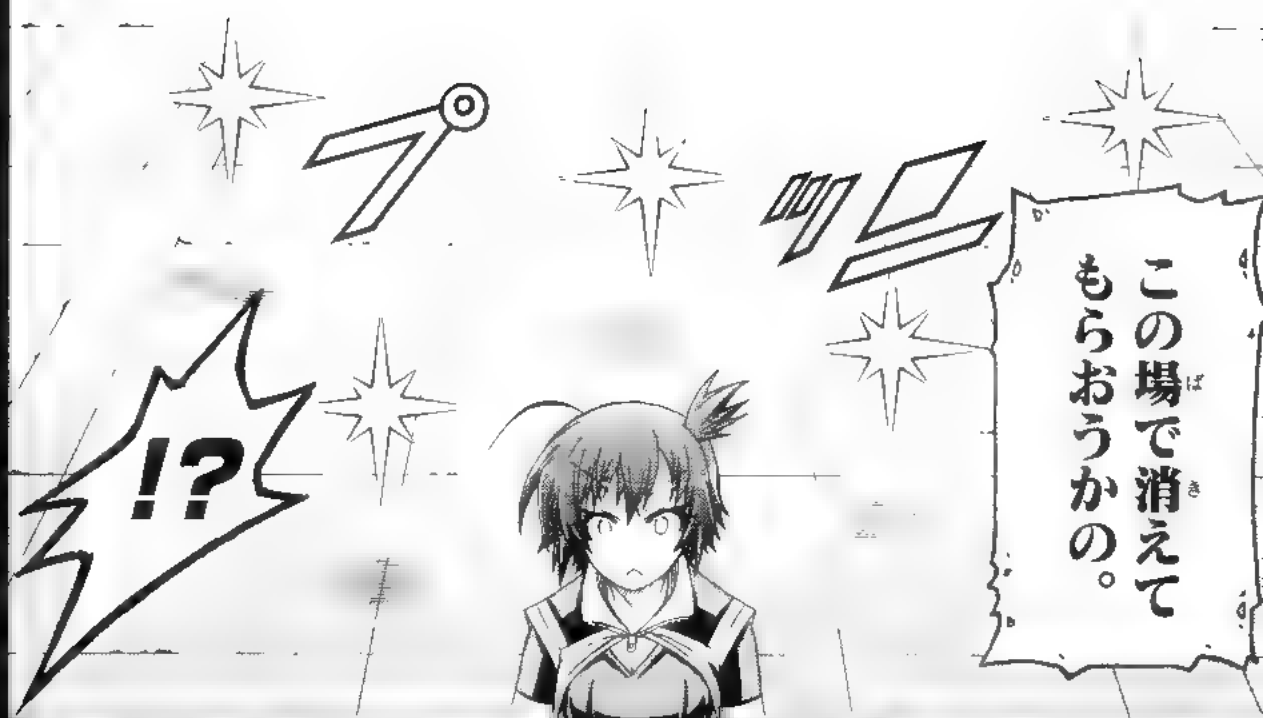
頼りない
父親として
見てるんだね...

「...そこまで言うなら
好きにすればいいよ
めだかちゃん」
「僕的にはまた
勝てなかったって
感じだけど」

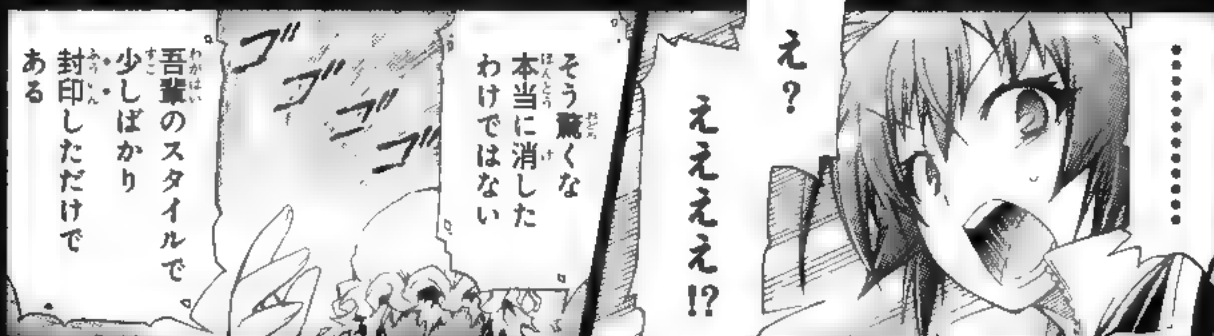
「まあこの状況に
持ちこめただけでも
ついてきた甲斐は
あったってもんさ」

ではこれで
取引成立である

となると
黒神めだか以外の
五人には



この場で消えて
もらおうかの。



え？

ええええ！

そう驚くな
本当に消した
わけではない

わがは
吾輩のスタイルで
少しばかり
封印しただけで
ある



なんならこの
五枚の名札も

優勝賞品に
してやつても
よいぞ。



.....

そんな馬鹿な...
あの安心院さんが

そうもたやすく
敵の手に落ちる
などと...!!

そこまで驚く
ことじゃねーだろ
鰐塚

気持ちには
わかるし

確かに安心院さんは
人間を超越した
存在だが



現実問題
あの人ついでないだまで
封印されてたじゃねーか

だからもしも敵が
球磨川みたいな
封印術の使い手なら

そういうことも
あるだろうって
俺は思ってたよ

つまり
人吉会長が以前
仰っていた

オールジョーカーズの
弱点とは「封印」
だったのですか...?



あーいや
それは違うよ
虎居

そして弱点
じゃなくて

攻略法というのが
やはり正しい

黒神めだか
鶴喰
安心院なじみ
不知火半纏
不知火半袖
球磨川硯

一見バラバラな
この六人の戦い方には
共通する傾向があつてな

不死身ゆえの
悪癖と言ってしまうと
それまでなんだけど

六人とも
敵の初撃を

基本
避けない。



もちろん
その理由は六人で
それぞれ違うんだが

主義だったり
自信だったり
油断だったり
好奇心だったり
威嚇だったり

半纏さんに至っては
ただそこにいるだけ
だから避けるも何も
あったもんじゃ
ねーし



つまり共通の
攻め方とは
「二撃必殺」だ

たとえ封印術じゃ
なくても
オールジョーカーズには
意外なことに

1ターンで勝負が
決まる系の技が
通じちゃうんだよ

もちろんこれだけで
攻略できれば
世話ねーけどな

先手を取られりや
それまでだし

避ける気がなくても
反射神経で
避けちゃうことも
あるわけだし



ただ安心院さんに
限って言えば
今回の「言葉使い」が
使うような

これまでにない
未知の攻撃なら
あの人は絶対に
避けないだろうな……

……
球磨川先輩が現在
その封印からそうして
脱しているのは

同じ封印術使いだから
脱獄のノウハウを
知っていたからと考えて
いいのかな？

「同じ」じゃあ
ないけどね」
「まあおおよそ
そんなところ
だよ」

「ついでに言うなら
安心院さんも
遠からず脱獄
するとは思うよ」

「あの人のことだから
封印状態を楽しんでる
かもしれないけど
すぐに飽きるだろう」

「他の三人だって
それぞれちゃんと
手は打っていると
思う——とは言え」

「今のところは
四人揃って
めだかちゃんに対する
人質だぜ」

「めだかちゃんは僕達が
封印されたことをどうせ」
「自分の責任みたいに
思ってるだろうしね」

漆黒宴を
切り上げておけば
こんなことには
ならなかったって？

んなわけ
ねーだろうに
むしろ連中が

本当の強硬手段に
出る前に話がまとまって
ラッキーくらいだろうよ

「その通りだけど」
「それで納得できる
めだかちゃんでも
ないでしょ？」

「だからこそ
月氷会の拘束も
甘んじて受けてたん
だろうしね」

「ミャー」

「だからきみ達のお陰で
予選が長引いているのは
もっけの幸いだ」

「人質が取られた状態で
決勝戦なんて
あまりに望みが
なさ過ぎるぜ」

「というわけで僕は
更に予選を
長引かせるために」

「南極できみ達を
待っていたわけ
なのさ」

「とは言え残念ながら
三次会の会場を
知ってるわけじゃあ
ないんだぜ」

「だから
善吉ちゃん」
「飛行機の修繕には
まだまだ時間か
かかるみたいだし」

「もったいぶらず
この場で始めて
欲しいものだね」

「めだかちゃんが
きみ達に残したという
このメッセージの
解説を」

善意で死ぬ奴分らしく、
遊ぶ退去なき神童は、
見舞ふべき身縋いし、希う。

アイアイサー——
ただ球磨川先輩
その前にひとつ

助けてもらったことは
もちろん
感謝感激なんです

だとしたら
助けに入るタイミング
遅かったですね？

「えへっ」
「告白」
「待っちゃった！」

解けないとは言われないまでも
解きにくい構造になつていゝと
予想できる

鰐塚お前
この文末の言葉を
なんて読んでる？

この字は正しくは
こう読むんだよ



そりゃあ
聞けばわかる
ことなのでしょう
けど

いやこれは
自分でなくとも
知らないでしょう

黒神殿もこんなの
平仮名で書いてくれば
よいのに……

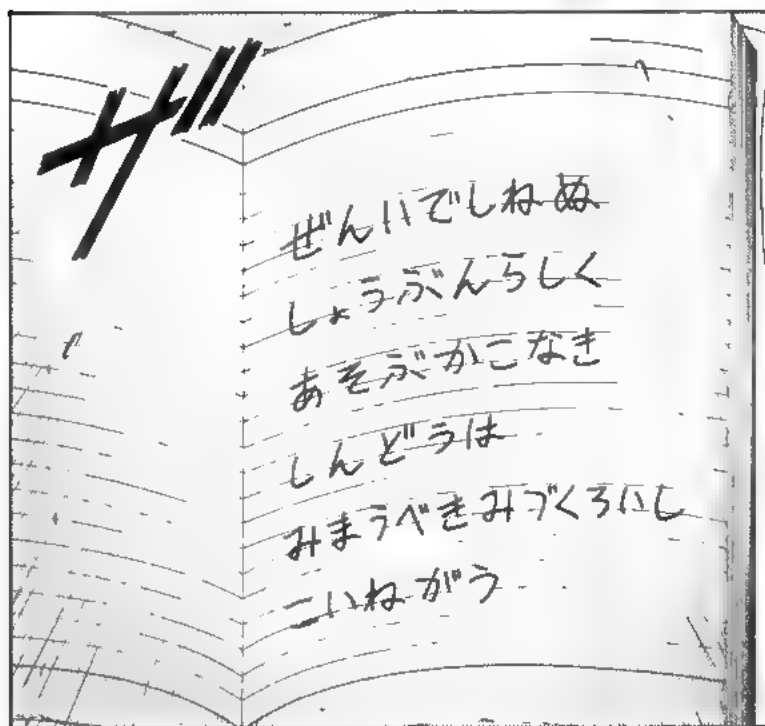


『こいねがう』

だ。

こいねが

ハ希う。



こんな風に。

そうだな
お前じゃなくても
そう思うだろう
だつたらいつそ
全部平仮名で
書いてみようか



句読点を取って
改行したのは
説明しやすくする
ためで意味はない

さあ鰯塚
これを見て何か
気付かないか？

つかこれには
お前が一番最初に
気付きそうな
ものなんだが

そう言われ
ましても……

むっ！

暗号文の中に
阿久根殿のご尊名が
あるではありませんか！

箱庭学園きつての
美男子！プリンスこと
阿久根高貴！

自分が心より尊敬する
『あくねこうき』の6文字が
文中に含まれて
いるであります！

ぜんいでしぬ
しうぶんろし
そぶかこな
しんどは
みまうべきみづろし
いねかう

……
気付き方は
うざいが
その通りだな

……
ただとそんなの
偶然じゃ
ねーのか？

これくらいの長さの
文章ならば
十分ありうる
偶然だろうよ

勿論です
名瀬師匠

この時点では
さすがに
まだ偶然と判断
すべきでしょう

ではこんな風に
阿久根先輩の名前を
隠してみたら
いかがでしょうか？

ぜんいでしぬ
しうぶんろし
そぶかこな
しんどは
みまうべきみづろし
いねかう

……
更に気付きやすく
なりませんか？

あ！

ああ！！

鍋島猫美!

不知火半袖!

飯塚食人!

雲仙 冥加

志布志飛沫!

箱庭学園の生徒名になりやがった!!

この暗号文…並び替えたら!

あくね こうき
しらぬいはんそで
なべしまねこみ
もぶもぶき
うんぜんみょうか
いねがう

ぜんいでしねぬ
しゅうぶんろく
あそぶかこなき
しんどろは
みまうべきみづくろい
いねがう



それではいいよ
最後のヒントだ

奇しくも機上で
漢字使いの叶野が
使ってたが

いわゆる「さんずい」って
奴は「水」を意味して
部首として「水部」に
属すんだ

水部？

いえそれは知って
ましたが急に水と
言われまして…

…あ!!

『曜日』!

『火』! 『シ』!
『金』! 『土』!
『日』! 『木』!

え…でも
曜日っていうなら
ひとつ足りないよ?

『月曜日』の
『月』がない…

『月』がない?

そりゃ
大変だ

だったら『月』を
探さなきゃ

『月』を『探す』
って…じゃあ!

まさか
漆黒宴の三次会
会場って…

不知(火)半袖
志布志(飛)沫
阿久(根)高貴
(鍋)島猫美
飯(塚)食人
雲仙(冥)加

六人全員! 『曜日』が
名前に含まれている
ではありませんか!

月^{つき}い!?



赤道直下^{せきだうちゆうか}
「黒幕島」^{くろまくとう}



黒神^{くろがみ}
宇宙開発センター^{うちゅうかいはいせんたー}



おおろなばら
大海原
南極大陸ときて
いよいよ月面か

なるほど
これで見事

月・氷・海の
完成というわけだ
洒落ておる

…カイの字が
違いますよ
黒神さん

そんな偶然に
にやけられても
困ります

大体あなた今の状況
ちゃんと認識
できてます？

球磨川さんだけは
どうやら脱出した
みたいですねけれど
他の四人は依然
人質のままですよ

あの三人の
誰が勝ち残るに
したって

このままだと
決勝戦での敗北は
眼に見えていると
思うんですけど？

そうか？
私に見えるのは

みなで学園に
帰る未来だけ
なんだがな。



あと一文字あれば
お母も音でけで
作れんだけとなー

さる
やむをらんか

?

とにかく
嫌だ

私は
帰らない

ここで善吉と
ずっと遊ぶ。



その日
託児室で発見された
黒神めだか(二歳)は

人質善吉を
人質に
立てこもった

恐らくは史上
最年少の手による
人質籠城事件
である――



まずはお菓子と
ジュースを
持って来い！

私は善吉を
もてなさねば
ならんのだ！

？

？

おいおい
こんなの前代未聞の
不祥事だぞ！

開始院
始まって以来の
不祥事だ！

患者が職員の子供を
人質に立てこもる
なんて…

お菓子とジュースは
用意できたのか！？

犯人は
追加のおもちやも
要求しているぞ！

くっ…
図に乗りおって
……！

みんな落ち着いて！
もう一回だけ
私に交渉させて
頂戴！

今度はちゃんと
準備していくし

悪勢力すくになつたら
私一人のほうが
やりやすいから！！

やめておきたまえ
瞳先生

きみには
データ処理の仕事が
あるだろう

ほう
放っておけば
よいのだよ

そうすれば
あの少女も
まな
学ぶだろう

この世に特別な
人間などいないと
いうことを。



……
院長先生



「きみはみんなを
幸せにするために
生まれてきたんだよ」

生きる目的を失っていた
自分にそう言ってくれた
人吉善吉



どんなことでも
思いのままに
実現してきた
自分の

決死の求婚を
あつさり
断つてのけた
人吉善吉

立場上二歳にして
様々な人間を見てきた
彼女をして


そんな人間に
会ったのは
初めてだった




だから
当然のように
彼女は思った

人吉善吉は
自分に匹敵する
特別な人間
なのだ





だけど
そんなはずが
なかった。




少女の「遊び」に
ついていけず
少年はわずか半日で
高熱に倒れた

これまでの
他のみんなと
おんなじだった

特別に思えた彼は
特別に思えないと
思った彼は


特別でも
なんでもない
二歳の子供でしか
なかった



出会った相手は
運命の相手では
なく

出会いは
運命の出会いでは
なかった

この世に



特別な人間など
いなかった



めだかちゃん…？

ごめん

う

うう

ごめん
ぜんきち
善吉



結局

こうなる…

仲良^{なかよ}くなっても
好^すきになっても

運命^{うんめい}を感じても
絆^{きずな}を感じても

みんなすぐに
私^{わたし}について
これなくなる…!!



この世^よに特別^{とくべつ}な
人間^{にんげん}なんていない…!

私は

私は
一人^{ひとり}だ…!!

…泣^なかないでよ
めだかちゃん

きみが泣^なくところ
なんて僕は
見^みたくないよ

大丈夫だよ
ついていけなくつ
ても

見失っても
離れても

僕はすぐに
めだかちゃんに
追いつくから。

特別な人間など
いない

けれど

それでも
そばにいてくれる
人間はいた

そしてその日から
彼は彼女にとって

人吉善吉は
黒神めだかに
とって

特別ではない
当たり前になった――

武器^{ぶき}子^こさんコレクション
秘蔵^{ひそう}の一品^{ひん}——
ロケット『ブラックライト』

月面^{げつめん}基地^{きち}まで
およそ三日^かで
連れて行^いってくれますよ

ま^い急^きぎの出^い発^{はつ}で
月氷^{げつひょう}会^{かい}的^{てき}には
申し訳^{わけ}ありませ^んが

あ^あなたがたなら
訓練^{くわんれん}抜^ぬきでも
ロケット搭^た乗^{じょう}くら
い余^よ裕^{ゆう}でし^しょう☆

さ^さすがの人^{ひと}吉^{きち}くんも
これ^{これ}で^でお手^て上^{じょう}げ
です^すよ^ね

黒^{くろ}神^{かみ}真^ま黒^{くろ}も
まさ^{まさ}がロ^ろケ^けツ^つトは
持^もっ^って^てな^ない
で^でし^しょう^う——

…ああそう言えば
善吉に会うのは
久しぶりだ

まだからと言って
甘やかさんよう
頑張らんな

前任者として
奴の職務怠慢を
しっかり叱って
やらねばならん

むう…
あくまで人吉くんが
助けに来るのが
前提ってわけか…

久しぶり？
同じ学校に
通っているのに
ですか？

ああ—もちろん
電話やメールを含めれば
まったく接点が
なかったわけでも
ないのだが

ちゃんと話したのは
奴に髪を切ってもらった
ときが最後だ

善吉は
新生徒会の立ち上げで
忙しかったし

私は自分探しで
忙しかったしな

忙しかったら
会わないって…
なんというか

二歳のときからの
幼馴染なのに
案外淡泊な関係
なんですな

うん
まあ正直

最近善吉とは
少し距離を
置いていたのだよ

思うところ
あってな

二歳のときからの
幼馴染で

十四年間
一緒にいて

私が
道に迷ったときや
道を踏み外したときは

いつだって善吉が
私を正してくれた

曲がりなりにも
私が人間で
あれるのは

すべてあやつの
お陰だと言って
過言ではない

だからこそ
昨年末の選挙で
私は思ったのだ

善吉に徹底的に
敗北したときに
思ったのだ

私は善吉がいなければ
なにもできない
人間には
なりたくない

善吉と一緒にいる理由が
あやつが必要だからでは
駄目なんだと

一人でも
できない奴は

二人でいちゃあ
駄目なんだよ

だから
距離を取って
最近

一人で活動して
いたんですか？

それが本当なら
私の反応はやや
過剰でしたかね

あははは
いやいや
武器子さん

貴様の反応は
過剰ではないよ



過剰どころか
無駄なくらいだ

何もしてないのと
大してかわらん

どこへ行こうと
距離を置こうと

善吉はすぐに
私に追いつくのだ
から。



ぐっ…
またそんな
根拠のない
ことを…



追いつくってどうやって
追いつくんですか
黒神さん！

あなたは！

これから
あのロケットに乗って
宇宙へ旅立つんですよ！？



俺達^{おれたち}にとっては
大きな一歩^ほだ。



いやは
人類にとつても
大惨事だろ
これ！





.....
ひとよしせんきち
人吉善吉!

嘘でしょう...!?
どうして
ここが...

ていうか
私のロケット...
(1兆7000億円)!



よーお
めだかちゃん
おひさ!

こんなところで
あ会うなんて
偶然だな!
ぐうぜん



ぜん
善?...

!!

ぽん

ぽん

馬鹿者善吉!
誰が助けに来いと
言った!!

己が職務を
投げ出して

3

よくもおめおめと
私の前に
顔を出せたな!!

……
頑張ったけど
黒神さん

効果音が
違ってます!

いやいや
落ち着け
取り乱すな!

会ってしまえばそれで
すべておじやんって
わけじゃないんだ!

黒神さんが欲しているのが
幸せではなく自由である以上

人吉くんがそれを
邪魔することはないはず

ははは そうだな
ごめんごめん

やっぱ俺じゃ
お前みたいじゃ
いかねーや





でどうよ
めだかちゃん
見つかったかい？

自分^{じぶん}って
奴^{やつ}は。



それがなかなか
かくれんぼのうまい
奴らしくてな

ま慌^{あわ}てず
じつくり
探すつもりだ

自分^{じぶん}って奴^{やつ}も
自由^{じゆう}って奴^{やつ}もな

しかし
そう言^いえば
善吉^{ぜんきち}

それでも私は^{わたし}
一人^{ひとり}になって
ひとつ気^き付^ついた
ことがあるぞ



私^{わたし}は一人^{ひとり}で
なんでもできる
奴^{やつ}だけど

一人^{ひとり}で何かを
したい奴^{やつ}では
ないらしい



いつか
自由になった
私の隣に

やはり
善吉

貴様がいない
なんて
考えられんよ。



…そうか

それが聞いた
だけでも俺は

ここに来たかいが
あつたぜ

さてと！
じゃあめだかちゃん

この漆黒宴！
当然俺も
協力させてもらうが

その前にひとつ
頼みたいことが
あるんだよ



頼み？
なんだ何でも
言うがよい

私が貴様の頼みを
断ったことがあるか？

いやそれは
絶対あつたと
思うけど…

またとえ
なかつた
としても

これは
自由に

断ってくれても
いいんだぜ

この戦いが
終わつたら



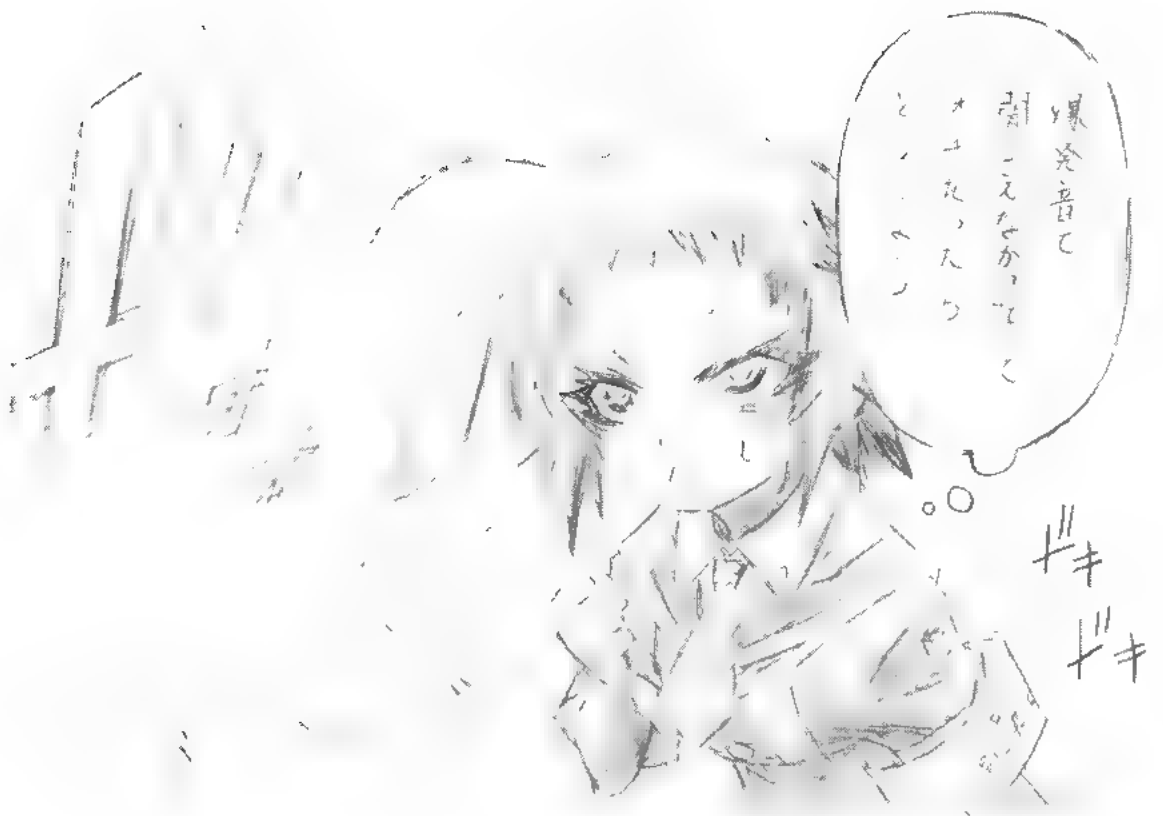


愛^{あい}して
るんだ。



俺^{おれ}と

結^け婚^{っこん}
してくれ



めだか
ちゃん

この戦い^{たたか}が
終わ^おったら

俺^{おれ}と結婚^{けっこん}
してくれ



第154箱

「今の私に大事なものは」

愛^{あい}して
るんだ。



よろこ
喜んで！



即答…
そ、そのまゝ

これが勝負なら
私の勝ちだぞ

しかし
いい気になるなよ
善吉よ

プロポーズしたのは
私のほうが先だし

そして
なにより

私のほうが
愛している。

…は

はははは

いれっ…

これ本当の
ことかよ…
ほんとう

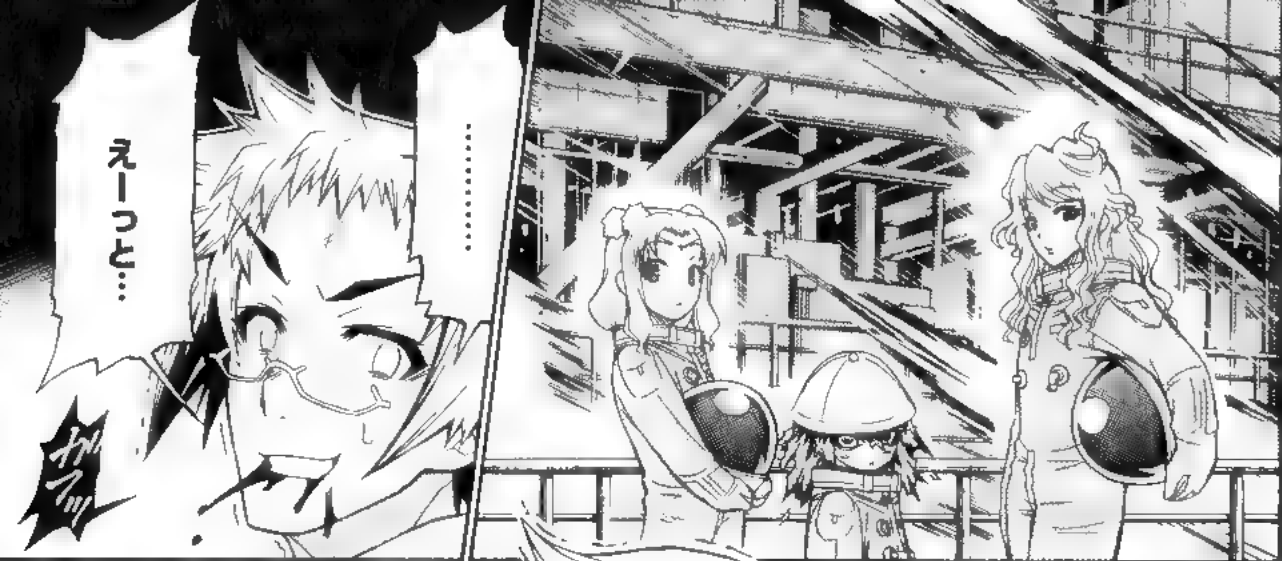


もう
死んでも
いいっ
：も









えーっと…

カッ



いいか！
勘違いすんなよ
めだかちゃん！

これはお前の
せいとかじゃ
ねーからな！

俺はお前が
南極大陸に
メッセージを
残してくれてて

俺に助けを求めてくれて
すごくすっごく
嬉しかったんだからな！！



あーあと
不知火に伝言
頼むわ

こないだ
連れてってやった
ラーメン屋

今度
食ってけってよ

俺の名前書いたら
裏メニュー出して
くれるから





とは言え
人吉くんも
よくやった

めだかちゃんが
恋心を思い出した
となると

漆黒宴も
ここから荒れるぜ

僕がけしかけた
こととは言え

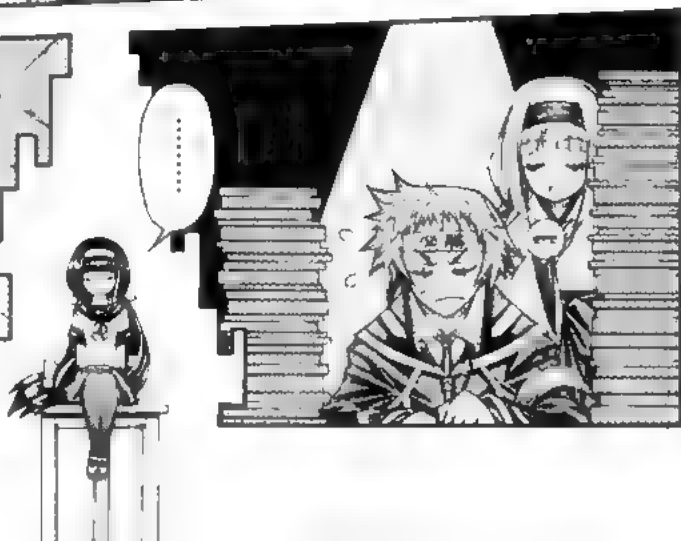
人吉くんは本当に
めだかちゃんが
好きだったんだねえ
……

ま死体を封印されたら
球磨川くんでも手が
出せないだろうし

これはもう
人吉くんのことば
忘れよう！

そもそも
生も死も僕の前じゃ
平等だしな

僕はもうしばらく
あの子の封印を
楽しませて
もらうぜ――





……
わっはっは

しよーがねー
急いで復活
してやるか

よく考えたら
こんなの全然

物足りねー
封印だったぜ



えー
ご覧の通りと
言いますか

月面基地に
向かうための
ロケットは

修復不可能なほど
破壊されて
しまいました



問い合わせたところ
代替機を用意するまで
かなり時間がかかるとの
ことでした

のでー

漆黒宴三次会は
それまで延期という
ことになりました

というわけで
ではみなさん！

出発までしばし
ご歓談のほどを！

できると
おも
思
う
の
か
!?





「そーいさりたつな
貴様達」

「ここで冷静さを
失えば連中の
思う壺だぞ」



「四人いた人質が
一人増えただけ
ではないか」

「どうせもとより
全員助ける
予定だったのだ」

「状況は大して
悪化しておらん」



「ちよつ…
そういう問題じゃ
ないでしょう！」

「人吉会長は
あなたの目の前で
刺されたんですよ！」

「あなたには血も涙も
ないんですか！？」

「見慣ないましたよ
黒神さん！
そんなに漆黒宴が
大事ですか！」

「あなたはもう
自分さえよければ
いいんですか！？」

.....
何^{なん}とでも言^いえ

いま わたし
今^{いま}の私^{わたし}に
大^{だい}事^じなものは

ち 血^ちでも
なみだ 涙^{なみだ}でもない

.....
黒神^{くろかみ}さん...

「察^{さつ}してやりなよ
虎居^{とろい}ちゃん」
「殺^{ころ}されたとは
言^いっても」

「身^{からだ}体^{たい}さえ
取^とり返^{かえ}せばまだ
蘇生^{そせい}の余^{あま}地^ちは
あ^あるんだ」

「そして馬鹿^{ばか}なことを
言^いうもんじゃない」
「めだかちゃんが
身^{からだ}体^{たい}を張^はってでも
守^{まも}りたい」

「大^{だい}事^じなもの何^{なに}かを
僕^わ達^{たち}は知^しっている
は^はずだろ^う」

.....
「でもあなたは
こ^こち^こら側^{はた}だつた
は^はずで^は」

.....
なんでもよいが

吾輩達だけが
人質を取っている
ような物言いは
不愉快だな

人質なら
汝らも
取っておるだろう

吾輩の
親愛なる友人を
三名

それを棚上げに
何を涙などを
流しておるのか
理解に苦しむわ

親愛なる友人……？
あいつ一体
何言ってるの？

さあ……

どうせまたなんか
企んだらん
ちやうん？

……ならば
どうする

人質交換でも
申し入れる
つもりか？

まさか——
五人と三人では
釣り合うまい

しかし
吾輩としては
交換どころか

差額の二人を
解放してもよいと
思っている

むろん
無条件では
ないし

人吉善吉は
どうあっても
解放できんかの

……
条件とは
なんだ

交渉したいなら
まずそれを
言ってみろ

第二回
漆黒宴

予選は
現時刻をもって
終了とし

これよりこの場で
決勝戦を開始しよう



会場の場所に
こだわる意味は
もうなからう

むしろ
お互い

さっさとケリを
つけたいはずだぞ



・・・というより
そもそも

・三次会場の
・月面基地の

本来の用途は
別であろうに……

本来の用途……？

……決勝戦自体は
私も望むところだが
婚約者はまだ三人
残っているぞ

三人のうち
誰が私と
戦うのだ？



ぜんいん
全員だ。

なれ
汝には
わがはいたち
これから吾輩達

いんどうじ
三人同時に相手取って
あいてと
もらいたい

と言つても
もちろん
というか

まさか三対一のバトルを
申し入れているわけでは
ない

わがはい
これから吾輩が
ていあん
提案するゲームは
いん
四人でプレイし
ちんじん
着順を競うという
ものだ

わがはいたち
つまり吾輩達も
きようほう
共謀することなく
おな
同じ条件で

それぞれが
トップを目指して
戦いに臨む

いんどし
四人同時に
プレイする
ゲーム……？

着順を競う
ということとは

マジンガー だいふく
麻雀や大富豪
みたいなゲームか
……？

当然ながら
トップを取った者が
漆黒宴の優勝者だ

なれ
もしも汝が
優勝したときは
残る人質たちも
全員解放し

わがはい
吾輩達は二度と
貴様達の前に姿を
現さんと誓うよ

「ゲームってのは
まずいかもね
名瀬さん」

ああー俺の妹は
ルールのあるゲームじゃ
必勝とはいかないし

しかもなんだかんだ言って
結局は三対一みたいなの
もんだろーしよー

人質二人の即時解放ってのは
ついつい飛びつきたくなる
おいしい取引だが
残念ながら

こんな条件は
呑めるわけがねーなー

呑もう。

確認するが
三人同時で
いいんだな？

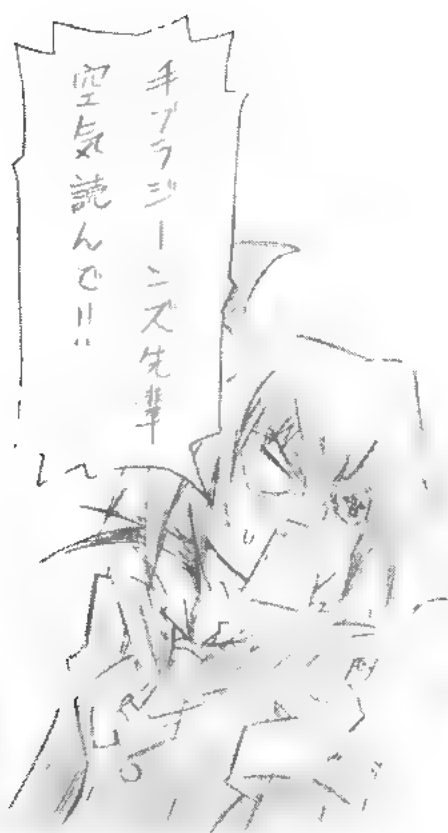
千人同時じゃ
なくて

即答……！！

……ああ
たったの三人だ

そちらからの
条件は？



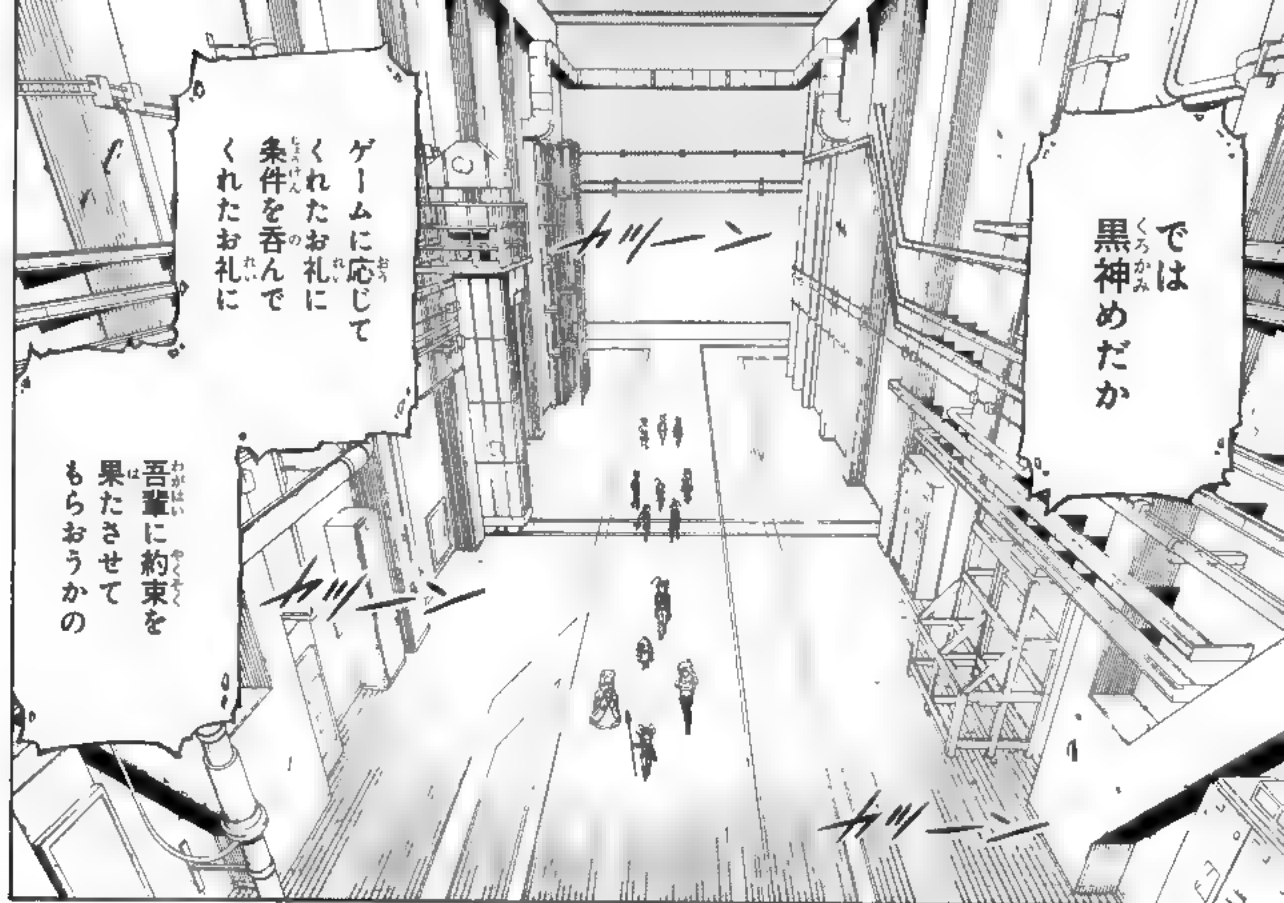


「まあ、
一兆七千億円の
ロケットを壊したら
昔ほど判これるからね」

手ブラジーンズ先輩
空気を読んで!!



だい 155 箱 「善吉のために」



では
黒神めだか

ゲームに
応じて
くれたお礼に
条件を呑んで
くれたお礼に

吾輩に約束を
果たさせて
もらおうかの



確か人質二名の
解放だったな

人吉善吉の
カードは解放
できないとして

この四枚のうち
二枚だ

選べ。



人質のトリアージか…
めだかちゃんには
ちよっとキツいな

「そうだね」

「まあでもここは
不知火ちゃんと鶴喰くん
決まりでしょ」

確かにそうですね…
安心院さんと
半纏さん

あの二人の悪平等は
自力での脱出も
期待できませんからな

あんしんいん
はんてん
安心院さんと
半纏さんだ

まずは
その二人を
解放しろ

!?

承った

受け取れい

なっ…

どうして
その二人なのですか
黒神殿!

しらぬいどの
不知火殿と
鶴喰殿ではなく
どうして…!!

……
どうせ最後には
全員助けるのだから
同じだろう

そそれは
そうですけれども!!

いやなに
あの娘がいかにも
不知火と弟くんを
選べと言っている
ようだったから

……
ここはその逆を
突いておこうと
思ってたな

ん?

!?

……まっつて
おくけど
めだかちゃん

きみ

あの子に
引っかけられ
ちゃったんだぜ?

僕と半鐘
二枚のカードの
復活が間近なのを
受けて

あの子は
こんな取引を
申し出たんだから

彼女はあえて
あんな態度を
とることで
きみに僕と半鐘を
選べせた

年齢差はあれど
どうやらこと
心理戦においては

あの子はきみの
遙か上を
いくようだね

……
素直に礼が
言えんのか

貴様は

わはは
感謝なんて
三兆年間した振りしか
したことねーな

まあここからは
任せておきなよ
めだかちゃん

僕がすべてを
片付けてあげるから！

約束なんか
律儀に守ること
ねーんだぜ

なんだったら
一京分の一のスキルを
一京すべてぶちこんで

力ずくで残り三枚の
人質も取り返し

人吉くんの傷だって
僕が治療してあげるよ

安心院さんが
頼もし過ぎて
駄目になりそう！！

待て

安心院さん

気持ちには
嬉しいが

善吉を助けるのは
私の役目だ

頼む
わたし
私に

善吉のため
ぜんきち
たたか
戦わせてくれ。





ゲームのルールを
説明しよう

『消失
デノート
デールトゥノーズ
しりとりに』

何かしこまる
ことはない

一度聞けば
幼子でもわかる
ルールである

まいくつか
特殊ルールを
足すことに
なるとは思うが

まずは大筋
——というか

基本的なルールを
説明しよう

『五十音表』

頭の中に
思い浮かべろ

日本語の奴だ

思い浮かべたか？
ならばそれが
汝の持ち駒だ

その持ち駒を
使用して
しりとりを
行うのだが

それらの駒は
一度使えば
消失する

という
取り決めだ

!?

たとえば一度
「りんご」と
言ったら

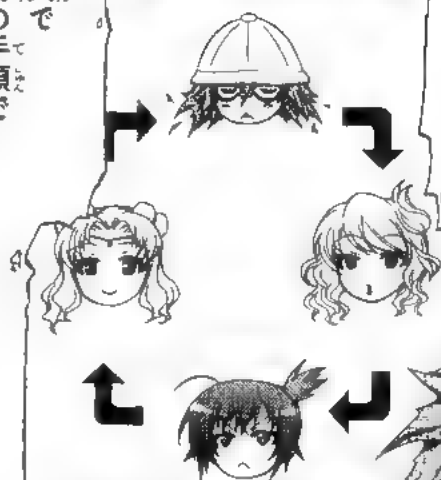
そのプレイヤーは
もう「かんご」
とは言えなくなる
ということだ

「ん」と「こ」は
消費して
しまったからな

ゲームの進行は
こんな感じになる

四人で
通常の手順で
しりとりを行い

各人己の
五十音表を
消費していくのだ



ちなみに頭文字は
前プレイヤーの文字を
受け継ぐので
消費されない

先の例えの
「りんご」で言うなら
消失するのは
「ん」と「こ」だけだ

「ん」と「こ」を
消費

りんご

「り」と「ら」を
消費

ごりら

「つ」と「は」を
消費

らっぱ

「ん」と「た」を
消費

ぱんだ

つまり「り」が
回ってきた時点で
まだ「り」を
使っていないければ

「りんり」と
いう言葉を
作ることは
可能なのだ

もう
わかったであろう？

その手順を繰り返して
しりとりを続け
同じ文字を二度
使うことなく
しりとりを続け

最初に五十音を
使い切った
プレイヤーの優勝！

それが

「消しりとり」
である





パスはなしか…
さすがに厳しい
ですな

ザワ

まあ五十音
すべてを使うのは
至難でしょうから
このゲーム

現実的にはその形で
決着がつくケースが
多いでしょうね…

失格についての
ルールにもう少し
触れておくと

当然ながら
同じ文字を二回
使ったら失格

他のプレイヤーが
使ったのと
同じ言葉を
作っても失格

この辺の
レギュレーションは
普通のしりとりと
同じと考えてくれてよい

もちろん最後に
「ん」がつく言葉を
作ったら失格である

もつとも吾輩
いまだかつて

そんな負け方を
した奴を見たことは
ないがの

「ん」がついちゃ
駄目…？」

「ん」から始まる
言葉だって
ちゃんとあるのに？」

そういうこと
言っつから
マイナスなんだよ
きみは…

…「五十音」の
範囲が気になるな

このゲームでは
どこまでを
「五十音」と
判断する？

「ゐ」や「ゑ」は
当然含むまいが

「がぎぐげご」
「ばびぶべぼ」などの
濁音半濁音

小さな「つ」や
小さな「よ」などの
促音拗音は

元の音とは
別枠で扱うのか？
それとも同じ文字
だと見做すのか？

…細かいところ
気にしますね

別枠で扱う
ルールもあり
なのだがな

しかし局面が
必要以上に
複雑になる感も
否めんし

汝に不満がなければ
今回は同じ文字と
見做すルールで
行いたいと思う

「ゐ」や「ゑ」の
旧かな系は除外

そしてしりとり
である以上は
もちろん

「を」も
除かねば
なるまい

整理すると
使える「五十音」は

「あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの」

「はひふへほ
まみむめも
やゆよ
らりるれろ
わ」んの
四十五文字

変化形はそれに含む
というわけだ

「う」の濁音の
「う」とかは
ありなのか？

細かいー！

ありということに
しておこう——
ただし揉め事を
避けるために

「ヴ」音と「バ」行とは
同じものとして扱い
区別しない

例えば
「ベーゼ」と
「ヴェーゼ」は
同じ単語として
扱い

どちらが正しいと
いうことにも
しない

ただし実際には
「ヴェーゼ」という言葉は
ゲーム中では
「ヴェえぜ」となり

「え」を2回使う
ことになるので
使用できんがな

同音異義語は？
例えばあるプレイヤーが
「洗濯」という言葉を
使った後

他のプレイヤーは
「選択」という言葉を
使えるのか？

もちろんだ——
ただし造語は
認めない

そこはまあ
常識の範囲内で

現存を証明できる
言葉のみを
使用可としよう

そして用言を
使う場合は
体言化すること

やはりしりとりは
体言で行うのが
美しいからの

基本ルールは
以上である

黒神めだか

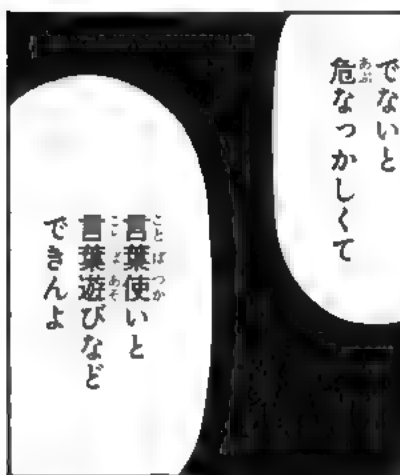
他に質問は？

.....



いい
ゲームだ

ない。



言葉使いと
言葉遊びなど
できんよ

でないと
危なっかしくて



もつとも
付け加えておきたい
ルールはあるかな

暴力的に
他プレイヤーの思考を
妨害する行為の禁止だ

当たり前の話だが
…念のためにな



……♡



それはこちらが
お願いしようと
思っていたことだ

ゲーム中に
一京のスキルとやらを
使われて

脳味噌を
かき混ぜられては
たまらんわい

なるほど…
言葉使いが三人
俺達後発部隊に
■けたのを受けて



スキルやら
スタイルやらで
競うのをやめたって
ことか…小賢しい

まるで鏡を見ている
気分だぜ

…だとしたら
私達の戦いも
無駄じゃなかったって
ことなんでしょうか？

さあな

それがわかるのは
これからだろ

たとえ
あからさまに
スタイルを使用
しなくとも

連中が
言葉のプロで
あることには
違いがねえんだ

むしろより状況を
悪化させちゃった
可能性もある――

そんなわけで
黒神めだか

吾輩が

汝に付け加えて欲しい
ルールは他にある

付け加えて
欲しいルール
…？

うむ
最初に言った
特殊ルールである

基本ルールに
いくつか制限を加えて
難易度を上げよう
という話なのだ

具体的に
時間制限と
文字制限だ

それを汝に
決めて欲しい

時間制限と

文字制限

ちなみに吾輩が
普段このゲームを
プレイするときは
制限時間を五分以内

文字制限を
四文字以上と
定めている

五分以内に
回答できなければ
失格

回答しても
それが三文字以内なら
やはり失格という
ルールだ

まあ説明するまでも
ないと思うがの

二文字の単語を
外すと途端に
このゲーム難易度が
跳ね上がるのだ
もちろん

時間制限も
短いほど
難易度が高くなる

……要は難易度設定の
権利を私に欲する
ということか？

そうだ

汝の器も
計れるしの
してどうする？





…ん？
どういうこと
です？

一時間未満を
失格にするって
…

どういう意味が
あるのですか？

「……
ふうん」

「珍しく
企んでる」

「みただなあ
めだかちゃん…」



…よからう！
意図は読めんが
ならば回答時間は
一時間としよう
それより
早くても遅くても
失格とする

ならば最早
是非もない！

早速！
一刻も早く
ゲームスタートだ！

審判は
この場にいる全員
というかな？
いいのかな？

まあ審判が
必要なゲームとも
思わないが—



待て待て
もうひとつだ—
これは老婆心
ながら

仮に汝が
優勝したとしても
結局

この先吾輩が
例のスタイルで
再び人質を取るとい
う不安は拭えまい？

同様に
吾輩達としても
敗北した汝が
いずれ

力づくで全てを
引っ繰り返す
可能性を危惧せん
わけにはいかん

だからそんな
不安を拭うために
吾輩と汝の間で
もう一つ賭けをしよう

なれ
汝が優勝すれば
わがはい
吾輩はこの舌を
みずか
自ら切り落とす

わがはい
吾輩が
ゆうしょう
優勝したら
なれ
汝は自ら

えぐ
その観察眼を
と
抉り取れ。

!?

.....
!!

なっ...

んっ...

では
オーブン
ザゲーム

の
「えぐりとら」

「り」

から!



消失
デリート
テールトゥノーズ
しりとり

もしも
汝が
敗北したら

自ら
その観察眼を
抉り取れ。

第156箱 「私は黒神めだかだ」

まさか異論は
なからうよ

汝の大切な
幼馴染

人吉善吉の命が
かかっておるの
だからな

あの幼女……
どさくさに
なんてルールを
提案するのよ……

て
うん？

なにをしてるんですか
鯨塚さん？

ああいえ
自分は書記
ですので

一応記録を
つけておこうかと
思いました……

ピツ

ピツ


なにせこれは
新生しんせい
黒神くろかみめだかの

はじめての戦いたたか
になるのですから

「消去しりとり」ルール

- ① しりとりを行い、最初に五十音表を使い切ったプレイヤーの優勝。
- ② 五十音表の各文字は一回しか使えない。
- ③ しりとりで頭文字は前プレイヤーから引き継ぐ。つまり消費するのは二文字目以降。
- ④ 以下のケースは失格。
 - ・言葉を作れなかった場合・同じ文字を使った場合
 - ・他プレイヤーが既に作った言葉を使った場合（同音異義語は可）
 - ・「ん」で終わる言葉を作った場合（「ん」から始まる言葉が極端に少ないから）
- ⑤ 失格者が出た後は残ったプレイヤーでそのまましりとりを続ける。残り一名になった場合は、該当プレイヤーの優勝。
- ⑥ バスはなし。
- ⑦ 「五十音」とは旧かなと「を」を除いた四十五文字。濁音・半濁音・促音・拗音はそこに含む。
- ⑧ 用言は体言化して使用すること。
- ⑨ 暴力禁止。
- ⑩ 作る言葉は四文字以上。
- ⑪ 制限時間は一時間。（一時間未満で答えても失格）。





Raw manga
manga-zone.org



協定世界時

21:00:00

漆黒宴決勝戦

開宴!!



21:00:01

ゲーム開始より 00:00:01 経過

失格者 0人

現在の手番 黒神めだか

『えぐりとりの』

『り』

から!

あれよあれよと
始まっちゃい
ましたけど…
飼塚さん

このゲーム
どういう戦略が
有効だと
思いますか?

ふっ

あなたらしくもない
愚問ですな
虎居殿

なんだかんだ
言っても
しりとりは
しりとりでしよう

ならば
取るべき戦略は
歴然であります



つまり
最後が『る』で
終わる言葉を
回し続けるという…

き

舞姫
お前さー

僕の端末やめたくなったら
いつでも言ってくれて
いいからね？

同じ文字は
一回しか使えない
んだから

その戦略は
不可能なんだよ
鰐塚ちゃん

てめーが記録した
ルールを
読み返せ

だがまあ
その戦略の応用なら
使えるかもな

「る」はもちろんのこと
「ら行」あたりの
使いにくい文字を
中心に回すとか

そうすれば同時に
使いにくい文字を
自分では処理できる
わけだしな

ただまあ序盤で
それをする意味は
ほとんどない

言葉使いじゃなくても
めだかちゃんじゃなくても
普通に語彙があれば
前半は問題なく
やり過ごせるだろう

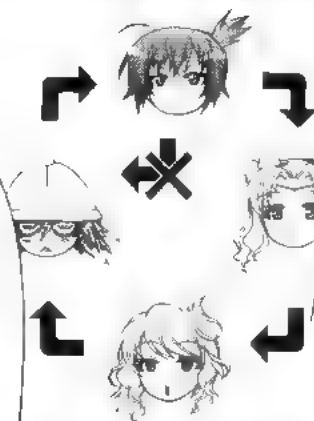
このゲーム
やはり肝は
後半戦ー

「……」
「確かに」

「それに
もうひとつ
その戦略に」

「穴があると
するならば」

「その戦略は、次プレイヤーにしか使えないってことだ」



「つまりめだかちゃんの賭けの相手である『あの凶悪ロリには使えない』」

「いやその戦略に限らない」

「めだかちゃんかなにを目論んだところで『他の二人の権約者が豊になってしまうんだ』」

「先手を取っためだかちゃんの引きは確かにさすがだけど」

「あの席を取ったあの子の引きも」

「なかなかどうして尋常じゃない——」

「……そうだね逆に言えば」

「あの子は前の席からめだかちゃんになんでも一方的に仕掛け放題なわけだしね」

「さてそういったあれこれを含んだ上で」

「第一手をどうするのかなめだかちゃんは——」

「……」



ちよっと散歩に
出てくるぞ

お姉さま
申し訳
ありませんが

しばし留守を
お任せします



!?



なつなにを
言ってるんですか
黒神殿!

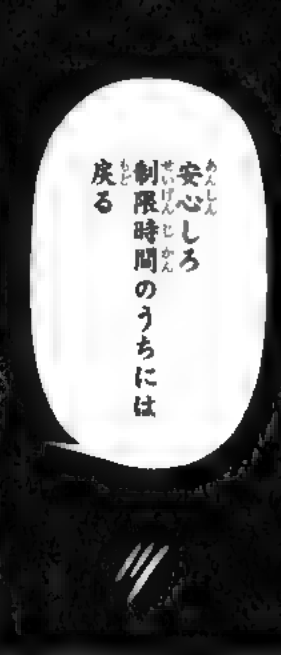
今はゲームの
真っ最中です
座ってください!

どうしてだ
鯛塚ちゃん

ゲーム中
中座してはならん
というルールは
なかっただろう



!?



安心しろ
制限時間のうちには
戻る

ちよっと外の空気を
吸いたくなったとでも
思っていてくれ



これなら
席順とか関係なく
全敵に有効……

そのために制限時間を
一時間にしたのか……？



取り繕う
つもりもない
盤外戦術……！

勝負の途中で
わざとらしく
席を外すことで

他のプレイヤーを
揺さぶりに
かかった……！！



おい
寿の杠の

同盟を
組もうか

!?



初手からそんな
印象の悪いことを
したら……



もちろん
優勝者からは

それなりの
見返りは
いただくが



吾輩がこの席から
勝算を度外視して
黒神めだかを
不利な状況へと
追い込んでくれよう

その隙について
汝らのどちらかが
優勝しろ



とりあえず
吾輩としては

あの女より
着順が上なら
文句はないわ



!?なにを勝手な
相談をしてるのよ
あなた達!

三対一じゃないって
あれだけ言ってた
くせに……

もちろん
そのつもりだったが
あの挑戦的な態度
——否

挑戦的な態度に
気が変わった

あんな挑戦に
乗らんほど 吾輩
人間ができておらん



ぐっ……

ほら
不要な反発を
買っちゃった……

敵に同盟を組む
口実を与えちゃって
どうするんだよ
めだかちゃん……

ピッ

21:59:58

ピッ

22:00:00

待たせたな
第一手は

硫酸霧

だ



時間ぴったり
帰ってきた
いい体内時計だね
でもまあ
とりあえず因縁
つけとごおっと！



ちよつと待ちなよ
黒神めだか

お前外で
辞書とか
見えてない？

いきなり六文字の
難しい言葉を
作ってくるとか
訝し過ぎるよ



饒喰博士が
愛した娘が

辞書よりも語彙が
少なかったら

むしろ
逆にがっかり
じゃろ



賢波の

そこは
怪しまないで
おくらい



…怪しまないで
もらえるのは助かるが
疑惑の余地が残るのは
気持ち悪いな

わかった
ならばその
小粋な槍使い

次からは
ついてきてくれ

誰の味方でも
ない立場
からなら

私の無実を
証してくれるよな

くる

ちよつ…
だから

待ってくだつ…
ちよつとおー！

「…確かに他のプレイヤーが
答える間もまた」
「席にいなきやいけない
決まりはないけれど」

「マジでなにを
仕掛けているのかな
あの子は…」

…ともあれ
ただの嫌がらせ
じゃあない
みたいだぜ

しかし
この僕にも
読めないねえ

黒神めだかの
見据えている
意図が――

安心院なじみが
読めないという意図が
他の誰かに
読めるはずもなく

しかし
ゲーム
そのものは

途絶えることなく
進行する

23:00:00

室町時代
むろまちじだい



02:00:00

山鰐
やまわに



00:00:00

巻柏
いわひば



03:00:00

肉詰め
にくづめ



01:00:00

離れ部屋
はなれべや



04:00:00

メダリスト
めだりすと



曲折きよくせつ

08:00:00

共布ともぬの

05:00:00

露姫つゆひめ

09:00:00

野狐のぎつね

06:00:00

雌犬めすいぬ

10:00:00

合歡木ねむのぎ

07:00:00



どころか
まともに
席に座ってた
ことがない!!

くっ…
またあいつ
外に出て行く
つもりですか…?



ゲーム開始より
十三時間経過

現在のところ
失格者なし



お気持ち
わかりますけれど



そのくらいにときや
黒神の!
どれだけ落ち着きがない
奴ですか!!

武蔵子!
こいつの行いはさあさあ
しりとりを決まりごと
紙断するやろ!



訝しいことは
してないか?
ならば三
なにして

ぐっ…



やはりゲーム内に
席を外した程度で
失格にはできない
ですよ

他のボードゲームでも
認められている
当たり前な
行いですし

それに彼女は
外でもなにも
訝しいことは
してないの





「……」
「あの特別の子
これで二度目
だけだ」

「なぜあも
「黒神めだか」に
挑みがちなの？」

確かに……
言われてみれば

始めからあの人
助けに来ること自体
乗り気じゃなかった
みたいです……

「完璧超人の
黒神めだか」

の支持者
って奴だぜ

あの子は



だから
「助けられる
黒神めだか」や
「ちょこまかする
黒神めだか」

まして
「恋や愛に身を焦がす
黒神めだか」を

認めることが
できないわけだ

そりやあ
頭じゃ
わかつているに
してもね

こればかりは
気持ちって奴だ
仕方ない



たとえそれが
前向きであつても
誰もか
「変わることを
誓めてくれるとは
限らない

しかし思えば
気になるところでは
あるよね

「変わらないね」
って言われるのと

「変わったね」
って言われるの

人はどちらが
喜ばしいもの
なのかね？



久しぶりなので
一応。



- ☆ 不知火 碇
- ・箱庭学園理事長
- ・不知火半袖の祖父



- ☆ 黒神 真黒
- ・箱庭学園旧校舎管理人
- ・黒神めだか、名瀬矢歌の兄

言われる
までもない
黒神めだかは

仲間^{なかま}に恥^はじる
戦^{たたか}いはしない――

だい 箱^{はこ}
第157

わたし「私の負けは決まっていたよ」

ま、確かに
無用な心配
なんだろうけどな

ただと本当に
何を企^{くわ}んでるんだ
めだかちゃん？

いい加減にしないと
そろそろ敵^{てき}さんちも
黙^{もく}ってねえぞ

しかし
黒神めだか

立^たったり座^{すわ}ったり
出^でたり入^いったりが
見^みていて不快^{ふかい}なのは
確かである

座^{すわ}れ

……これは
驚^{おどろ}いたな

このゲームは敵^{てき}に
直接命令^{ちくせつめいれい}しても
よかったのか？

命令^{めいれい}？

おいおい
早^{はや}とちりするな
吾輩^{わがはい}は

座^{すわ}れ

ば

教えてやると
言^いいたかったのだ

なれ なかま
汝が仲間を
巻き添えにしてまで
知りたがった

なれ だい
汝の第二の父親
つるばみはかせ
鶴喰博士

ころ
を殺した者が
なにもの
何者かを。

もう一人の
父親なんて
実在しません

くろかみ
黒神めだかの
父親は
いつだって

くろかみかじき
この黒神舵樹
ただ一人です。

：そこも
わかりませんね
そういえば

くろかみ
どうして黒神さんは
鶴喰博士を
父親のように
慕うのでしょうか？

りしろう
あはは理事長
それは問題の
立て方が逆ですよ

つるばみはかせ
どうしてめだかちゃんが
鶴喰博士を父親のように
慕うのか——ではなく

つるばみはかせ
どうして鶴喰博士が
めだかちゃんを
娘のように愛したのかを
問うべきなんです

第一回漆黒宴を勝ち抜いた
七人の婚約者の一人である
鶴喰梟が

なぜ
めだかちゃんを
妻としてではなく

娘として愛したのか
それを解き明かせば
芋蔓式にすべての謎が
解けるんです

ま詳細を
知ったのは
僕も最近
なんですけどね

物語は今から
およそ二十年前

当時の月氷会の
計らいで

この男
黒神舵樹が

七つの分家を
代表する
七人の婚約者

全員と結婚した
ところから
始まります。

!?

な…七人の婚約者
全員と結婚？

あなた
そんなこと
してたんですか
舵樹くん？

七人でも
少ないくらいです
不知火翁

私の愛情は
一人に注ぐには
多過ぎるんですよ

いえ私に限らず
黒神家の血筋は元来
愛情過多でしょ

たとえば
真黒くんの妹愛が
そうでしょう

くじらちゃんが
行方不明の間
一人で妹を務めた
めだかちゃんが
どれだけ辟易
していたことか

そのめだかちゃんに
したってそう

あの子の全人類に
向けられた過剰な
愛情については

私達よりもむしろ
不知火翁のほうが
ご存知でしょう

しまいにはあの子
家を出て自活
し始めてしまっ
ましたからね

あははは！
そのめだかちゃんの
溢れんばかりの
愛情を

たった一人で
受け取めようと
している勇者も
いますかね

そして

くじらちゃんの
産みの母親は
当時の桃園家代表です

ちなみに
僕の産みの母親は
当時の潜木家代表で

つまるところ
この男の
その博愛が
原因なんですよ

月水会がそれ以降
漆黒宴なんて
おぞましいイベントを
設けるようになったのは

二度とそんな馬鹿者が
現れないよう
七人の締約者をはっきりと
一人に絞ることにしたんですって

めだかちゃんの
産みの母親は
当時の鶴喰家代表

鶴喰鳩

彼女は
鶴喰梟博士の

姉です。



——これで
わかったであろう？

博士が
汝のことを

娘としてしか
愛せなかった
わけが

当たり前だわな
叔父と姪では

夫婦になることは
できないのだから

鶴喰博士が
黒神殿の叔父…？

つまり
バーミー！

あの鶴喰陽殿は
黒神殿の従兄弟に
あたるのか…！

結局博士は
汝の中に

汝を遺して
逝ってしまった

実姉の面影を
求めていたに
過ぎないのよ



だから博士は
その身を
買かれたのだ

黒神家の
栄華永続を目的とする
月下の年寄りにとって

それを断たせかねない
博士の行いは
およそ許せるものでは
なかったのだ

つまり博士を
殺したのは
彼に敗北した
他なる六家とか
ではなく

そのときの――
初代の媒酌を務めた者
なのだよ



娘として
知りたがっていた
鶴喰博士のこと……

首尾よくそれを
聞き出せたみたい
ですけれど

ひよつとして
これが狙い
だったの？

相手を苛立たせて
欲しい答を
喋らせるって――



かもしれねえ……
しかし俺には
桃園が苛立ってるとは
見えないぜ

それに仮にそれが
狙いだっただとしても
知って気持ち
アガる話じゃなかったし

ゲームとしては
むしろ不利になった
気がするぞ……

……とは
言え

愛する娘を
愛する姉を

落命した程度で
諦める鶴喰博士でも
なかった



博士は死後、
他の六家の許婚を
始末することで
第二回目的の黒きパーティを
開かせた

同じ轍を
踏まないために
自らは立ち上がらず

新たな許婚を
仕立てての

つまり
誰が勝ち
誰と結ばれたところで

黒神めだかを
手に入れられる
形を作ったのだ

それが吾輩達
「言葉使い」だ
吾輩達は

博士からスタイルを
教わるかわりに

それぞれ
矢面に立ち
名乗りを上げたのだ

吾輩達が一人残らず
女子であることが
不思議ではなかったか？

いわばそれは
実姉の血を
継ぐ者に

他の男を
近付けたくない
博士の「親心」だよ

おいおい待てよ
鶴喰博士が死後に
他の許婚を

「まったくだぜ」
「それとも博士がその後
生き返ったとか」

「ありえない絵空事を
おっしゃるつもりかい？」

始末したとか
仕立てたとか
よっぽど不思議な
ことを言ってるぜ？

どの口が述べるの
極みだな
大体復活や不死身は
汝だけの特技
ではない

そもそも
博士が開発した
スタイルとは

汝らの持つ
スキルとは
まったく違って

糠^ぬ味^か噌^み
そ





タイムぴったりで
答えねば
失格になる
取り決めたったかの
確か

杠の
寿の

つまり汝らは
失格である



あの子の話を
聞いている間にも
すっかりゲームは
続いていたって
こと……?

でも
いつの間に
午後一時とかに……

ああ……
タイムリミットを
忘れてたわけでも
ねーのにな

恐らくはあの娘
お喋りのペースを
ちよつとずつ遅くして
リズムをつけて

他のプレイヤーや
俺達の体内時計を
狂わせたって
ことか……



このゲーム
次プレイヤーしか
攻められないとばかり
思っていたが

しかし
この手が
あったとは……

ですがならばなぜ
その手で黒神殿を狙わず
他の二人を失格に
追い込むのです!?

今の話では
許婚はみな
仲間であり!

それに彼女達は
手を組む約束を
していたのに!!



仲間？

約束？

おい
なれ
汝
ごときが
なにゆえ

吾輩の
プロジェクト名を
知っておる？

!?

誤解するなよ
今話したのはあくまで
鶴喰博士の思惑だ

スタイルを教えて
くれた礼として
吾輩達はそれに
助力こそするが

黒神家入りが
吾輩達許婚にとって
庶幾するところだ
あることは

第二回においても
まるで変わらない

よって吾輩達が
目当てとすべきは
トップだけだ

なれば
周りすべてが

親の仇みたいな
ものである。

そして
かてに加えて
誤解するな

吾輩は別に
黒神めだかを
狙わなかった
わけでもない

二人を失格に
追い込む
ことによって



黒神めだかの
無粋極まる企みも
また粉々に

砕いてやって
くれたわ。

!?



…企み？

はて

なにを言っ
ておるのかな

とぼけるなよ
黒神めだか

そもそも吾輩は
汝がタイムリミットを
以内ではなく
びつたりと区切った

そのときに
既に見抜いて
おったのだ



汝はゲームを
長引かせることに
よって

吾輩が取った
これら人質達が

自力で脱出するのを
待っているのである？

汝がこのゲームに
付き合っておるのは
この人質達がおるからに
他ならない

逆に言えば
こやつらが
自力で脱出
してしまえば

汝はゲームから解き放たれ
思いのままに暴れられる
わけだ

汝はこのゲームに
勝つつもりも
やり切るつもりも
なかったのだ

吾輩達を苛立たせる
目論見の振りをして
汝は時を稼いでいた
だけなのだ

人質が脱出する
ための時をな

事実その男が
吾輩のスタイルから
自力で脱出して
おるしな まあ

あと二日三日かければ
それもありえた
のかもしれない

だがその
いたいけな아가きも
プレイヤーの数が
いてこそだ

プレイヤーが
二人となれば
稼げる時も
知れておる

汝の企みは
これで瓦解である

いかに長引いても
あと一日足らずで
ゲームは終わる

惨めにも人質に
取られてしまった者共の
顔を立ててやる意味も
あつたに違いないが

生憎だったの 黒神めだか
これで汝の負けだ!

……ここまでは早く
しかも適確に

それを見抜いて
くるとは……

ほつと
したよ

もしも
見^み抜^ぬいて
くれなかったら

それで私^{わたし}の
負^まけだつた！



!?

これで私の
勝ちだ

礼を言わせてくれ
桃園幾々

いやまったく
あとひと回りするまでに
見抜いてくれなければ

私の負けは
決まっていたよ

博士の話が
一足早く聞けたのは
はつきり言って
ブロジエクトの
外だったが

言わずもがな
それについても
多謝の一言だ!

……!?
なにを言ってる!?
ここで笑顔とか…

それに…
席を立たない!

黒神殿は
座ったままだ!!

……
どういうことだ?

読み違えたのか?
こいつ人質の脱出を
待ってたんじゃないか?

いやハッタリだ!
看破されたのを咄嗟に
強がっているだけだ!
苦しまぎれに見苦しい!

あとはただ普通に
しりとりをやり切れば
吾輩の勝ちである!!

そ え も の
添え物

え よ ほ る
役丁

あ げ な べ
揚げ鍋

ま で
マテ茶

き せ ぶ た
着せ蓋

し る そ ば
汁そば

こ お り あ
クーラー

す が し め
清じ女

よ み び と
詠み人



の お ほ え
ブーボエ

ろ ふ た あ
ロフター

へ に ま
紅隈

や わ ら ぎ
和らぎ

た む し
夢虫

ば け ね こ
化猫

あ る ば と ろ す
アルバトロス

め い ち ょ
名著

と り せ つ
取説



……
ゲーム開始から
二回目のAM七時

おそろしい……
二人共失格することなく
ここまで
もつれ込むとは……

ハア
……
ただど最早
幾何もなく
おしまいですよ

ハア
……
今や二人共
残る文字は
二桁を切っている
はず……

おそろしくは
あとふた回り
以内に

ハア
……
どちらが
勝つにせよ
このゲーム

ハア
……
泣いても笑っても
決着がつく——

……

はす？おそろしくは？

ふん……傍観者は
いい加減な読みをしおる

ここまで来れば後の展開など
楽に読めるであろうに

そして吾輩の勝ち
既に確定しておる

やはり黒神の言うことは
ハツタリだったのだな

長かった漆黒宴も



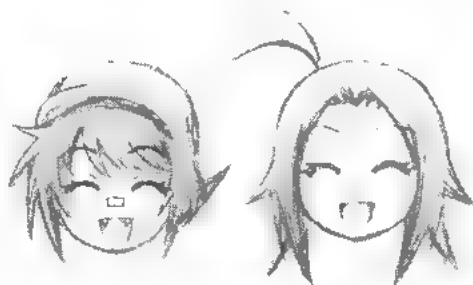
桃園家



つまりこんな感じに
血縁が
あるわけだ

なんか納得

潜水家



第158箱 『言葉もない』

……？ 一体なにに
気付きやがった
あのちびっ子……

いきなり立ち上がったって
焦ってるみたいだが……

……そもそも
このしりとり
今どっちが勝ってて

どっちが負けてるの？
いよいよ
わからなくなっ
てきたよ……



「結局そこが
このゲームのレベルが
高いところだからね」

「頭の中の持ち駒を」
「相手のまで含めて
把握しなければ
ならないところが……」

「ベースはしりとり」
「言葉の競い合いに
したって」

「ここまで
もつれこむと
もはや」

「互いの記憶の
競い合いと
なるわけだ——」



まあね……しかし
とは言え
ギャラリーの多くが
「今」を把握していないのも
決まらない話だ

鰐塚ここらで
ここまでの記録を
見せてあげなよ

え？でもそこまで
細かい記録は
取ってないのですが……

貸せ。

お前には過ぎた
デバイスである
そのタブレットを
僕に貸せ



「これ」が
「今」だよ

22:00	黒神	硫酸霧	13:00	桃園	糖味噌	2:00	黒神	コーラー
23:00	杠	室町時代	14:00	黒神	添え物	3:00	桃園	アルパトロス
0:00	寿	巻柏	15:00	桃園	ノーボエ	4:00	黒神	清し女
1:00	桃園	離れ部屋	16:00	黒神	役丁	5:00	桃園	名著
2:00	黒神	山鰐	17:00	桃園	ロフター	6:00	黒神	詠み人
3:00	杠	肉詰め	18:00	黒神	揚げ鍋	7:00	桃園	取説
4:00	寿	メダリスト	19:00	桃園	紅隈			
5:00	桃園	共布	20:00	黒神	マテ茶			
6:00	黒神	野狐	21:00	桃園	和らぎ			
7:00	杠	合飲木	22:00	黒神	着せ蓋			
8:00	寿	曲折	23:00	桃園	夢虫			
9:00	桃園	露姫	0:00	黒神	汁そば			
10:00	黒神	雌犬	1:00	桃園	化猫			

杠・寿二名が
脱落してのち

桃園・黒神対決が
ここまで続く――



現在の手番 黒神めだか
現在の頭文字 「つ」

黒神めだか
残り「く」「こ」「り」「れ」の
四文字に対して

桃園喪々

黒神めだか

残り3文字

残り4文字

「う」「さ」「ん」

「く」「こ」「り」「れ」

既に「こ」まで
進み――
終わってたの!?

大きな声を出さなよ
プレイヤーに聞こえる
だろ

ま
互いの肉体さえ
賭けている
あの二人が

この程度掌握
してないわけが
ないけどさ

四文字以上の言葉を
作るルールだから
残り三文字の桃園は
嫌でも次で
五十音を使い切る！

状況は明らかに
桃園に有利……どころか
黒神殿の
敗色濃厚！

ち……違うよ
まだわからない
って！

残り三文字を
使い切れば確かに
桃園さんの勝ちだけど

それは黒神さんも
同じ！一度に残り
四文字を使い切るか

あるいはそう！
桃園さんが言葉を
作れない頭文字を
回せば――

……
無理だな

それができない
頭文字を

めだかちゃんは
先んじて
送られている

「取説」の「つ」から
今めだかちゃんが
組み立てられる言葉は
「作り替」だけだ

送れる頭文字は
「れ」を残して
「こ」のみ！

つまり桃園は
「こ」を
受け継いで

公算！
……という

言葉たちをちやんと
成立させて
しまおう！！



で…でもだって
そんなこと
ルール説明のときに
言っただけじゃない

あくまで「ん」で
終わる言葉を使ったら
負けとしか……

それは
確認を怠った
そちらのミスでしょう？

てゆーかこんなの
普通に
論理的に
理屈で

常識的に考えたら
そうなるでしょ！
難癖つけないで
くださいよ

まあどうしてもと
言うのなら
月氷会の評議にかけても
構いませんが……

けど
そんなことをしても
あなたがたの株を
下げるだけだと
思いますよ

そんな幼稚な
因縁をつけて
仮に勝ったとしても

あなたがたは
それを勝ちって
言えるんですか？

「……」
「言えないね」

「また勝てなかったと
言うしかない」

……ちゅーか
あのがきは
どうせ狙って
それをやったん
やろけどな

五十音を
奇麗に使い切って
しかも相手が
確認を怠った

「ん」で締める
ラスト！

嫌味な勝ち方
する奴やでほんまに

「作り墓」



ああっ…
駄目だ！

わかっていても
黒神さんは「こ」を
回すしかなかった！

状況は必至！

あとは桃園が
「こ」うさんと
言って終わりー

……ん？

あとは桃園が

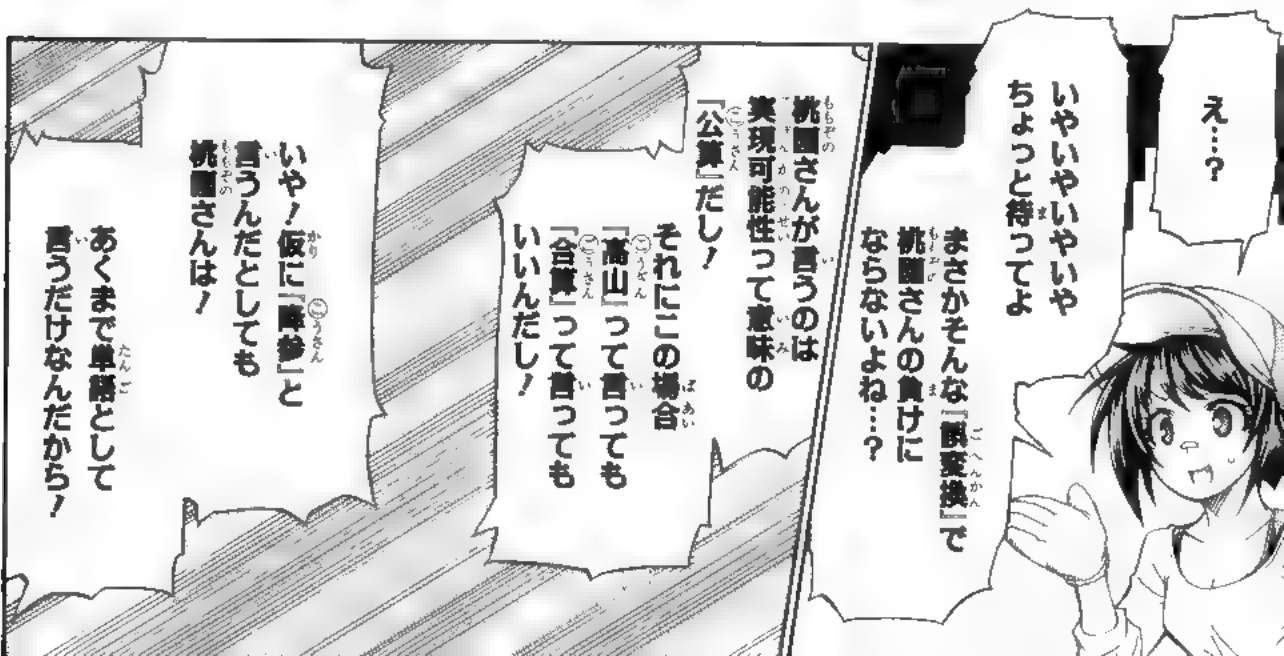


桃園が

降参

と言っ

て
終わり…？



え…？

いやいやいやいや
ちよつと待ってよ

まさかそんな「顔交換」で
桃園さんの負けに
ならないよね…？

桃園さんが言うのは
実現可能性って意味の
「公算」だし！

それにこの場合
「高山」って言っても
「合算」って言っても
いいんだし！

いや、仮に「降参」と
言うんだとしても
桃園さんは！

あくまで単語として
言うだけなんだから！

…違うのだ
もぐら

わがはい
吾輩が

言うのではない

この化物が

言わせるのだ

こいつは
狙って吾輩に

その言葉を
言わせるつもり
なのだ

狙って…？
そんな馬鹿な

じゃあ黒神は
狙ってお前の
五十音表に！

「う」と「さ」と
「ん」だけを
残したっていうの！？

ありえない！
プレイヤーが
操れるのは
己の五十音表だけ！

相手の五十音表に
干渉するなんて
不可能だ！

五十音表？
それどころの話では
ないのだ

この女が
ゲーム第一手の
「破敵書」で使った以来

つい先程！
汝らがタブレットで
確認したその時まで！

「う」と
「さ」と
「ん」

その三文字を 口に した者は

合飲木

ねじの

これで他の
勝ちだ

見をきかせてくれ
続編全々

いやまったく
あとひと回りするまでに
足らなくてくれなければ

私の負けは

「確かに他のレイヤーが
勝てる間もまた」
「底にいなきやいけない
決まりはないけれど」

「ヤンでなにを
仕舞っているのかな
あの子は」

てすけれど

ひよつとして
これが悪い
だったの

細手を寄立てさせて
欲しい茶を
贈らせるってー

「勝ちはてきりいまず
こればかりは」

「あつち
おつち
同じ気持ちです」

だから博士は
その身を
買かたのだ

風神家の
安部永徳を目的とする
月下の年寄りにとって
それを断たせかねない

いかに異引いても
あと一目足らずで
ゲームは終わる

ゆめにも人間に
取られてしまった貴族の
面を立ててやる意味も
あるに違いない

「お、このゲームは
付き合っておるのは
この人間達がからに
敵ならない」

「逆に言えば
こやつらが
自力で救出
してしまえば
おはなはゲームから解放され
思いのままに動かれる
わけだ」

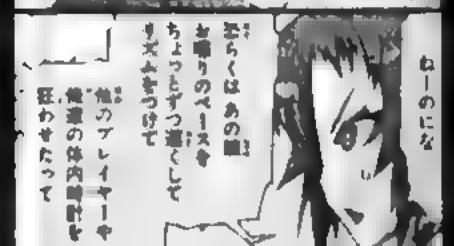
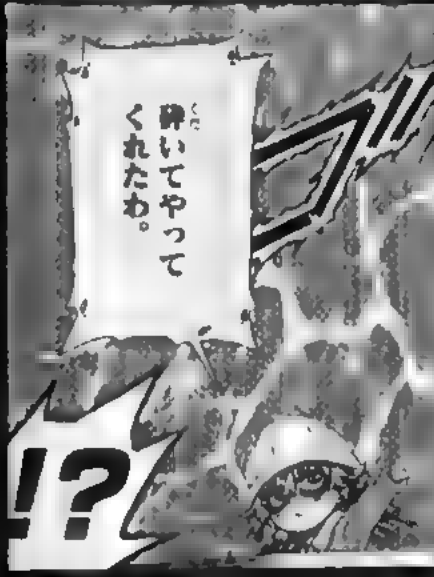
「タイムアップたりで
ええねば
大層になる
なり決めたったかの
か」

そのくらいついたはず
風神の、
これだけ強がらない
勝たずか

「お前外で
勝負とか
見てきてない？」

「あつちとやらなよ
風神めだか」

この場に
一人も
いないのだ。



15人の
人間が

34時間の
会話の中で

一度も、

一回もだ。

吾輩達の
会話を！

言葉を！

この女は
寸分狂わず！

コントロール
してたんだよ！

……まあ
標的はもちろん
桃園喪々ひとりだけ
だったのだから

誰かが口にすれば
思い出されて
しまうので
皆には諸共に
なってもらった

時を忘れさせる
貴様の話術と同じ
文字を忘れさせる話術
と言ったところだよ

「……仕掛け
られたのは
ルール説明の
ときかな？」

だろうね……

もちろんその後も
微調整は
必要だったろうけど

妙に細かい質問を
繰り返している
と思っただけ……

あれは質問の答を
知ってたかたんじやなくて
その後の会話や
展開を誘導していたんだ……

ラストに「ん」を
使うルールを
確認しなかったのも

吾輩に「ん」を
残させるための
誘導か！

しかし制限時間を
一時間としたのは
なぜなのだ？

確かに時間が伸びると
コントロールの
難易度は上がるが

中座したり
のフレイントで
貴様が他の二人を
倒してくれるなら

願ったり叶ったり
だからに
決まっておろう

いくら私でも
三人同時に
分家の婚約者を
相手取れるなんて

最初から
思っちゃあ
いないさ……

中座しながらでも
吾輩達の会話を
管理できる
自信があつたなら
黒神めだか

普通にやっても
余裕で勝てた
はずであろう

アナグラムとバングラムと
リボグラムを同時に
行うような離れ技
しかも隅田まで
巻き込んで
何が吾輩の話術と
同じなものか
格が違う

なのに
どうして！
吾輩に勝敗を
委ねるような
真似をする！

吾輩が気付かなければ
それまでだったのだぞ！

…そうだな
そういう意味では
貴様の言うとおり
私はこの
「消失しりとり」

勝つ気もやる気も
なかったのかも
しれん

私はな
桃国表々

ゲームでは
なく

貴様に
勝ちたかったのだ

影武者六人が負けようと
善吉達に追いつかれようと
球磨川が復活しようと
決して負けを認めない
貴様が

たかがしりとりで
負けたくらいで
潔く負けを認めるとは
どうしても思えなくてな

人質解放の約束も
舌を切り落とす
約束も

舌先三寸で反故にして
漆黒宴を更に続ける
貴様の姿が目に見えよう
ようだったよ



貴様に勝つということはつまり貴様のそういうところだ勝つということだ

そのためには心理戦で

貴様を上回るしかなかったのだ

目には目歯には歯

舌には舌だよ
桃園喪々



「小細工を弄した戦いかたも終わってみれば」
「相手に合わせたフェアなスタイルか」

「ところで虎居ちゃん」

「あれは誰かな？」

……
黒神めだかですよ

戦いに対して誠実で

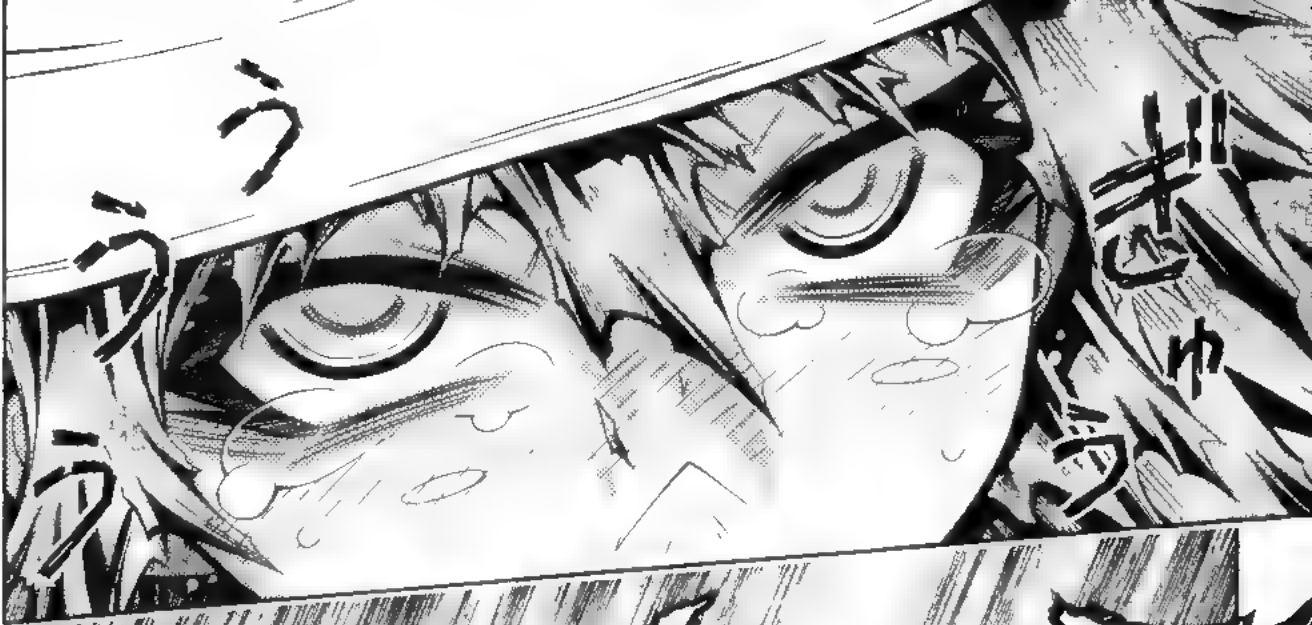
私の好きな元生徒会長です！



これでも負けを認めないなら
お手上げさ

そのときは貴様の勝ちだ
なんとでも言え

結婚でもなんでもしてやるよ



降参^{（こさん）}

である

言葉も
ない！





——漆黒宴が
たった今終了した
そうです

優勝者は
黒神めだか

これで彼女は
晴れて自由の身と
いうわけですね

理事長室



……ま順当な
結果ですね

箱庭学園の
関係者なら
誰一人驚かない

順当な結果です

順当な結果？
それは違いますね
不知火鈴

今回めだかちゃんは
心理戦で勝ったの
ですよ？



それは
とりもなおさず
彼女が人の心を
理解したと
いうことです

黒神めだかの
関係者なら
一人残らず驚く

驚きの
結果ですよ

いいこと……

なんですよね
親父殿？



ええ
もちろん
いいことですよ

めだかちゃんに
とっても

わたくし
私が用意する
かのしょあした
彼女の明日に
とっても――



……
みんな……

えっと……

おれ
俺は一体……？



おっと
急に動くなよ
善吉よ

なほ
治したのは
胸の傷だけだし
血も足りておらん

あんせい
安静に
しておけ

そっか……
勝ったんだな
めだかちゃん

おめでとう……
よかったな

くら
それに較べて
助けるつもりだったのに
人質とか

ほんとう
本当俺はいつたい
何をやってるんだか

そりやま
諸手を上げて万々歳とは
いけねーよな

頼むぜめだかちゃん
うまく慰めてやってくれよ――



はっはっは！
今回は格好悪かったな
善吉

まあ
こういふことも
あるさ



さ！
宴は終わったから
もう帰るぞ！



ああ
そうだな

帰^{かえ}ろうぜ
めだかちゃん

俺^{おれたち}達の
箱庭^{はこにわ}学園^{がくえん}に！







わにづかしより ふあん こんやくしゃこうざ
 鰐塚処理の不安であります婚約者講座③

こんやくしゃさいもろう あんら 婚約者最強の女であります！ 自分、こてんぱんにやられました！ 手も足も出
 なかったであります！ 自分だけでなくせいとかいいちどう 生徒会一同、ほぼ全滅したであります！
 びっくりしました！ あくねしいう あ かお 阿久根師匠に会わず顔がないであります！ 自分は寝技に
 持ちこもうとしたのですが、じめん つめ 地面が冷たくて無理だったであります！ 裸エプロ
 ン先輩、改め手ブラジーンズ先輩が来てくれていなかったらと思ったらぞっとし
 ます！ あのかたはほんとう つよ ひと でんてき 本当は強い人の天敵でありますな！ しまあその後の横
 暴な言動に隠れがちですが、このこんやくしゃ はあ ゆいいつ て 手ブラジーンズに理解
 を示した(?)という意味では、球磨川せんぱいとわかりあえたかもしれません！
 ツナギジーンズ！ いやちが 違えますな、手ブラツナギー！ まあくまがわ 球磨川せんぱいと
 わかりあうことが人生でなんのプラスになるか（どんなマイナスになるか）、
 自分にはわかりませんが！



くぐるぎ
 潜木もぐら
 くぐるぎ けだいひょう
 潜木家代表
 ごへんかんつか
 『誤変換使い』

わにづかしより ふあん こんやくしゃこうぞ
 鰐塚処理の不安であります婚約者講座④

球磨川せんばい曰く「凶悪ロリ」であります！ 確かに恐ろしい目つきであります！ 初期の私の目つきの悪さもなかなかでしたが、これは敵いませんな！ 振り返ってみれば今回の漆黒宴は、月氷会と言うよりも彼女が仕切っていたようなものだったそうで！ 名札使いというのは「相手の名前を知っていればカード化できる」というすさまじいスタイルだそうです！ 西遊記の瓢箪みたいであります！ 安心院さんまで封印するというのは何気に快挙だと自分は思うのですが、皆さん「あの人はねえ…」みたいな感じであります！ みんな安心院さんに親しみを込め過ぎであります！ ちなみにこの子、というか婚約者の皆々様全員というのですが、遅刻は本当に素だったそうです！ 一番すごいのはあの大胆な遅刻をなかったことにしたことかもしれません！



ももぞのもも
 桃園喪々
 ももぞのけだいひょう
 桃園家代表
 なふだつか
 『名札使い』

わにづかしより ふ あん げっひようかいこう ざ
 鰐塚処理の不安であります月氷会講座

ぜんページ ふ だいい かいしつこくえん しんこうやく
 前頁でも触れましたが、第二回漆黒宴の進行役でありながら、なんとなくそのお
 かふ ももやの も うば かん かのじょ しつこくえん う ひ
 株を桃園喪々に奪われた感じのかたであります！ 彼女がこの漆黒宴で受けた被
 がいそうがく かんが われわれ い かん もんく い
 害総額を考えると、我々としては如何せん、文句を言いにくいところがありま
 す！ ひとよしがいちい つらぬ おも ほんらいくろかみどの
 人吉会長を買いたことを思えば、本来黒神殿にボコボコにされてもおかし
 くないかたなのですが、空母やロケットの損害を考慮し、許してもらった感があ
 ります！ ちなみにその名の通りに武器のコレクションを趣味としているかたと
 言うことで、しつこくえん けつりようご ちっこん じゅうか き しぶん も あ
 漆黒宴終了後、昨今の銃火器について、自分と盛り上がったりしま
 した！ あにうえ みやげばなし い
 兄上にもいい土産話ができたであります！ あ、ここで言うようなこと
 でもないですが、わたくしさいきん じっ かん もど げん き あんしん
 最近、実家に戻ってきました！ みんな元気で安心し
 ました！ それではこれにて「漆黒の花嫁衣裳」編、お開きであります！



うどうぶ き こ
 兎洞武器子
 げっひようかいしよやく
 月氷会所属
 おぐしゅうしゅうか
 武具蒐集家

めだか
ボックス

マイナス十三組のお正月



「正月って
押し付け
がましいよね」

「お前の何が
正しいんだって
思わない？」



「はあ……
言われてみりや
そうだな」

「じゃあマイナス十三組
的には正月のことを
なんて言うべきなんだ？」

「ん？」
「んーっとねー」



「……」

「きょうがつ
狂月！」



「この人に
一生ついていこう……」

「狂月の門松は
地面に突き刺さって
いると言います。」

次巻、訪れた『いつも通り』の日々。 しかし――



黒神殿は
えらくご機嫌で

はしゃいで
おられた
ようなので――



え？
すみません
めだかさん

不知火って
誰ですか？

知らない…

よう？



私が好きに
なりかけたせいで

もう不知火に
会えないなんて
あんまりじゃないか…!!

そこにあるはずの
『彼女』の姿が――!?!?

めだか達は向かう。

『彼女』を求め――



第4部

『不知火不知』編

開幕――

!!

めだかボックス 第19巻

2013年

2月発売予定!!

■ジャンプ・コミックス

めだかボックス

18「この戦いが終わったら」

2012年12月9日 第1刷発行

著 者 西 尾 維 新

©NISIOISIN 2012

暁 月 あ き ら

©Akira Akatsuki 2012

編 集 株式会社 ホーム社

東京都千代田区神田神保町3丁目29番 共同ビル
〒101-0051

電話 東京 03(5211)2651

発行人 鈴 木 晴 彦

発行所 株式会社 集 英 社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050

03(3230)6233(編集部)

電話 東京 03(3230)6191(販売部)

03(3230)6076(読者係)

Printed in Japan

製版所 株式会社 コスモグラフィック

印刷所 凸版印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁
(本のページ順序の間違いや抜け落ち)の場合は
お取り替え致します。購入された書店名を明記
して、集英社読者係宛にお送り下さい。送料は集
英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で
購入したものについてはお取り替え出来ません。
本書の一部または全部を無断で複写、複製する
ことは、法律で認められた場合を除き、著作権の
侵害となります。また、業者など、読者本人以外
による本書のデジタル化は、いかなる場合でも
一切認められませんのでご注意下さい。

ISBN978-4-08-870536-1 C9979